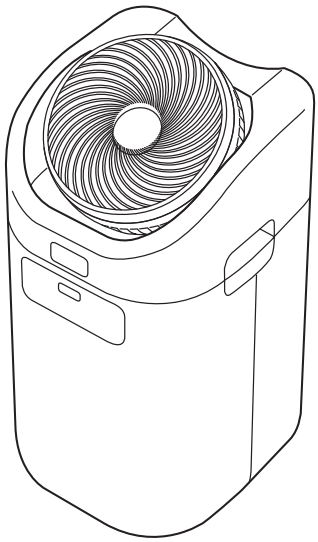
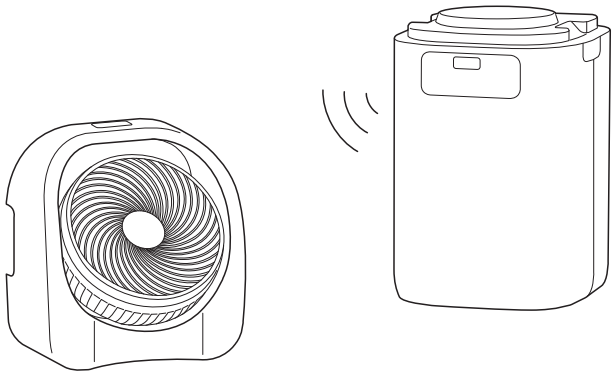
CORONA

（保証書付）
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。

コロナサーキュレーター連動衣類乾燥除湿機

取扱説明書　CDSC-H8023X（シー ディー エス シー エイチ エックス）





もくじ

ご使用の前に　ページ

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・2〜4
知っておいていただきたいこと ・・・・・・・5
準備と確認・・・・・・・・・・・・・・・・6〜7
衣類乾燥の上手な使いかた・・・・・・・・・8〜9
各部のなまえとはたらき ・・・・・・・・10〜12

使いかた

運転のしかた ・・・・・・・・・・・・・13〜14
衣類乾燥をしたいとき・・・・・・・・・・・15
除湿／空気を循環したいとき・・・・・・・・16
風量を選ぶとき・・・・・・・・・・・・・・16
風向を選ぶとき・・・・・・・・・・・・・・17
サーキュレーター単独で運転したいとき ・・18
切タイマーを使うとき・・・・・・・・・・・19
チャイルドロックを使うとき・・・・・・・・19
移動するとき・・・・・・・・・・・・・・・20
満水のお知らせ ・・・・・・・・・・・・・20
排水のしかた・・・・・・・・・・・・・・・21
連続排水のしかた ・・・・・・・・・・・22〜23

お手入れ

内部乾燥のしかた・・・・・・・・・・・・・24
お手入れのしかた ・・・・・・・・・・・24〜27
長期間使わないとき・・・・・・・・・・・・27

必要なときに

故障かな？と思ったら ・・・・・・・・28〜29
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
保証とアフターサービス・・・・・・・・・・30
長期使用製品安全表示制度に基づく
本体表示について・・・・30
お客様ご相談窓口・・・・・・・・・・・・・31
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・裏表紙

このたびは、コロナサーキュレーター連動衣類乾燥除湿機をお買いあげいただき、まことにありがとうございました。
●この取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで安全に正しくご使用ください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
●お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan.
In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

株式会社コロナ

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

○誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次のように区分して説明しています。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。
⚠注意	取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う、または物的損害を生じるおそれがある」内容です。

○お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない「禁止」の内容です。
❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

安全に使っていただくために

⚠警告

電源コードは途中で接続したり、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない
延長コードやタコ足配線などにより定格を超えると、発熱や火災の原因になります。
禁止

電源コードに重い物をのせたり、傷つけたり、加熱や加工したりしない
電源コードが破損して、感電や発熱･火災の原因になります。
禁止

電源コードは折ったり、束ねたり、ねじったり、挟み込んだり、引っ張ったりしない
電源コードが破損して、感電や発熱･火災の原因になります。
禁止

電源プラグを抜いて運転の停止をしない
感電や火災の原因になります。
禁止

電源プラグは、がたつきのないように刃の根もとまで確実に差し込む
接続が不完全な場合は感電や発熱・火災の原因になります。
必ず守る

電源プラグ、マグネットプラグ、マグネットプラグ受けのほこりは定期的に乾いた布でふきとる
ほこりが付着した場合は感電や発熱・火災の原因になります。
必ず守る

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、ボタンやルーバーを操作しない
感電の原因になります。
ぬれ手禁止

交流100V以外で使わない
定格以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になります。
禁止

この製品付属の電源コード以外は使用しない 電源コードを他の機器に転用しない
故障や発熱の原因になります。
禁止

マグネットプラグの先端にピンなどの金属片やゴミを付着させない
感電や発熱・火災の原因になります。
禁止

マグネットプラグを乳幼児になめさせない
感電やけがの原因になります。
禁止

スプレーなどの缶を近くに置かない
爆発や火災の原因になります。
禁止

発熱器具の近くに置かない
樹脂部分が溶けて、引火するおそれがあります。
火気禁止

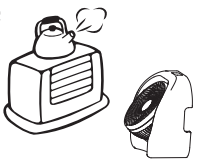
油・可燃性ガスや引火性のものがある場所で使用しない
爆発や火災の原因になります。
禁止

ほこりや粉塵の多い場所では使用しない
故障や火災の原因になります。
禁止

湿気が多い場所でサーキュレーターのみを使用しない
感電や漏電火災の原因になります。
禁止

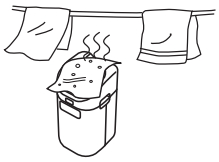
乳幼児、お子様、お年寄りなど、自分で操作できない人の手の届くところに置かない
けがや感電の原因になります。
禁止

燃焼器具に直接風があたる所で除湿機やサーキュレーターを使わない
燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。



禁止

洗濯物や袋などをかけたり、ふさぐなどして運転しない
風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になります。



禁止

お手入れやサーキュレーターの取りはずし・取り付け時には必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
ファンや羽根が高速回転しているため、けがの原因になります。
プラグを抜く

サーキュレーターの羽根やガードの取り付け、組み立ては確実におこなう
運転中に部品がはずれたり、落下するなどして破損やけがの原因になります。
必ず守る

安全に使っていただくために

⚠ 警告

水につけて直接洗ったり、水をかけたり、花瓶などの水の入った容器をのせない
内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になります。

禁止

風を長時間身体にあてない
体調不良や脱水症状の原因になります。

禁止

除湿機の吹出口や吸込口、サーキュレーターのガードや隙間に指や棒および紙などの燃えやすいものを入れない
内部でファンや羽根が高速回転しているため、けがの原因になります。また、ヒーターが発熱しており、やけどや発火のおそれがあります。

禁止

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
電源プラグや電源コードが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電や発火の原因になります。コンセントの差し込みがゆるいときは、電気工事店に修理を依頼してください。コンセントを交換しても異常に発熱するときは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

禁止

⚠ 注意

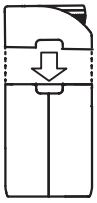
長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
感電や漏電火災の原因になることがあります。

プラグを抜く

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張って抜かない
感電や発熱・火災の原因になることがあります。

禁止

一体で使用するときは除湿機とサーキュレーターを確実に組み付ける
サーキュレーター落下によるけがや故障、異音の原因になることがあります。



必ず守る

一体で移動するときは除湿機のとってを持つ
サーキュレーター落下によるけがや故障、異音の原因になることがあります。



必ず守る

移動するときは必ず運転を停止し、タンクの水をすて、除湿機を傾けない
水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

必ず守る

除湿機を倒さない
横に倒した状態で運んだり、保管したりすると故障の原因になることがあります。

禁止

サーキュレーターを落下させたり、強い衝撃を与えない
破損や故障の原因になることがあります。

禁止

物をのせたり、のったり、腰掛けたりしない
落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

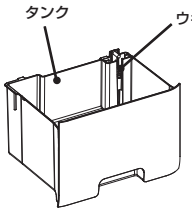


禁止

サーキュレーターを移動するときはガードは持たず、サーキュレーターのとってを持つ
破損や故障の原因になることがあります。

必ず守る

タンクからウキをはずさない
タンクが満水になっても運転が停止せず、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。



禁止

お手入れをするときは40℃以上のお湯やベンジン、シンナー、みがき粉、エタノール、化学ぞうきんなどを使用したり、殺虫剤をかけない
本体やタンクを傷め変形や割れ、水もれの原因になることがあります。



禁止

スイング中に手でサーキュレーター本体やガードを押さえてスイングを停止させたり、動かしたりしない
指や手をはさむなどのけがや破損する原因になることがあります。

禁止

運転停止直後にサーキュレーターのお手入れをしない
モーターが熱くなっているため、やけどの原因になることがあります。

禁止

除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない
健康を害する原因になることがあります。

禁止

動植物に直接風をあてない
悪影響を及ぼすおそれがあります。

禁止

設置について

⚠注意

水のかかりやすい場所で使用しない

感電や漏電火災の原因になることがあります。



禁止

サーキュレーターはカーテンや紐などを巻き込まない場所に設置する

破損やけがの原因になることがあります。

必ず守る

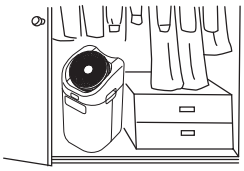
薬品を扱う場所（病院、工場、実験室、美容院など）で使用しない

空気中に溶けた薬品や洗剤により除湿機が劣化し、ひび割れや水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

禁止

押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない

風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。



禁止

水平で丈夫な場所で使用する

ご使用中に除湿機が倒れると、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

必ず守る

屋内専用なので、直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない

過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。

禁止

食品や美術品、学術資料などの保存、業務用や特殊用途には使用しない

保存品の品質低下の原因になることがあります。

禁止

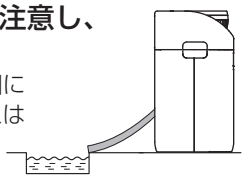
排水ホースを使用する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにする

排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内にもれて家財などをぬらす原因になることがあります。

必ず守る

連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする

水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。排水ホースは定期的に点検してください。



必ず守る

修理について

⚠警告

異常時・故障時には、ただちに使用を中止する

必ず守る

- 運転 入/切ボタンを押しても運転しないとき
- 除湿機やサーキュレーターからこげくさい臭いがするとき
- 除湿機のファンやサーキュレーターの羽根が回転するときに異常な音や振動がするとき
- サーキュレーターの羽根の回転が不規則に変化するとき
- 電源プラグや電源コードなどが異常に熱いとき
- 電源コードに触れると通電しなかったり、折れ曲がって破損しているとき
- ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき
- 除湿機本体から水がもれるとき
- その他の異常や故障があるとき

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。
運転を停止して電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。

分解・修理・改造をしない

感電や火災・けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口に依頼してください。

分解禁止

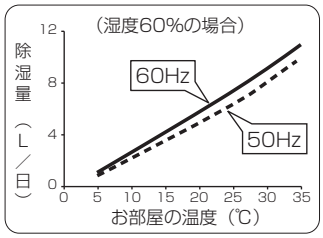
知っておいていただきたいこと

■運転可能なお部屋の温度について

■運転可能なお部屋の温度は約5℃～約40℃です。
■お部屋の温度が約40℃を超えると、除湿機内部の温度が上がるため、保護制御がはたらき除湿せずに送風運転をすることがあります。一体で使用するときにお部屋の温度が高い場合は、サーキュレーター風量を「強風」にしてお使いください。
■お部屋の温度が約5℃以下の場合は、除湿した水が凍りつくのを防止するため、除湿せずに送風運転になります。

■除湿量について

■お部屋の温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。
また、同じお部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため、除湿量は減っていきます。
■衣類乾燥運転の「標準」でサーキュレーター風量が「強風」のときに除湿量は最大になります。



■霜取りについて

■お部屋の温度が約18℃以下になると、除湿機内部の熱交換器に霜が付くことがあります。
その場合、自動的に霜取り運転をおこないます。
■霜取り運転中は送風運転をします。除湿はできません。

■お部屋の温度上昇について

■除湿機は冷房機ではありませんので、お部屋を冷やすことはできません。
■運転中は排熱のため、ご使用環境によって、お部屋の温度が2℃～4℃またはそれ以上上昇します。

■吹出口と吸込口について

■吹出口と吸込口はふさがないでください。保護制御がはたらき運転できないことがあります。
■除湿機とサーキュレーターの間には洗濯物等の障害物をはさまないでください。

■アルミフィンについて

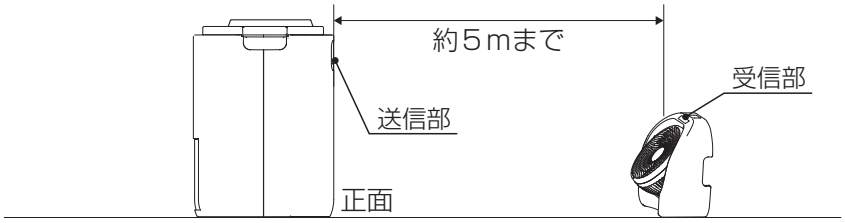
■熱交換器に使用しているアルミフィンは、性能向上のため表面処理を実施しています。
銅管の溶接の際の熱により変色やゆがんでいる部分が一部ありますが、性能および耐食性などには影響ありません。

■切り忘れ防止機能について

■サーキュレーター単独で使用した場合を除き切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

■除湿機とサーキュレーターの分離運転時の赤外線送受信について

■分離運転では除湿機の送信部から赤外線を送信し、サーキュレーターの受信部で受信して通信します。
■受信可能な距離は床置き状態で除湿機とサーキュレーターの正面を向かい合わせにして、約５ｍです。
■赤外線を遮るものがある状態では送受信できません。
■サーキュレーターを設置する高さや向きが変わると受信できない場合があります。



■冷媒に関するご注意

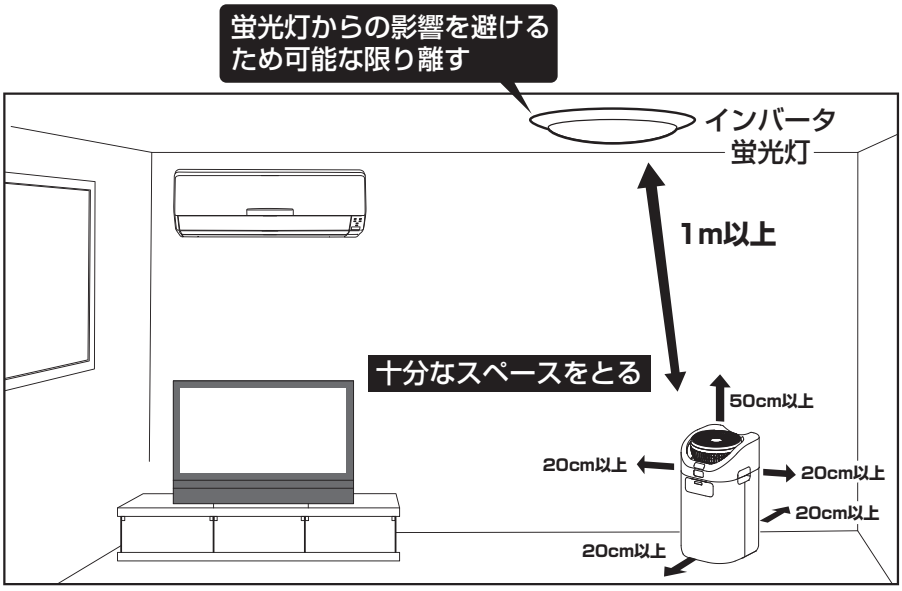


この家庭用除湿機には、CO_2（温暖化ガス）186kgに相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため修理・廃棄等にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。
お住まいの地域の方法に従い廃棄してください。
フロンに関するお問い合わせは、お客様ご相談窓口までお願いします。

準備と確認

設置場所について

■直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらないところに設置してください。変形・変色したり、安全装置が誤作動する場合があります。
■テレビやラジオからできるだけ離してください。ノイズが入る場合があります。
■水平で安定した場所で使用してください。

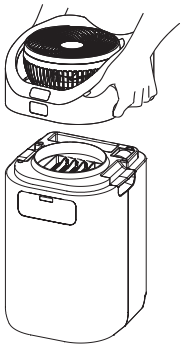


※地域（電波の弱い地域）によっては1m以上離してもノイズが入る場合があります。

設置のしかた

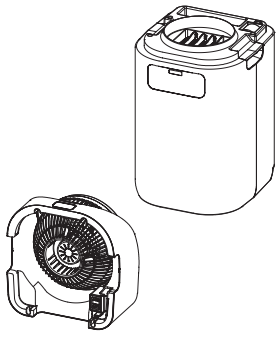
■一体で使用するとき

サーキュレーターのとってを持ち、除湿機の操作部とサーキュレーターの操作部が同じ面に来るように向きを合わせて、除湿機の上にのせます。



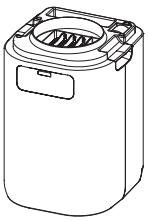
■分離で使用するとき

除湿機とサーキュレーターが向かい合うようにサーキュレーターの操作部を上にして設置します。
（サーキュレーター単独で使用するとき ☞ 7ページ）
除湿機とサーキュレーターの間に洗濯物等の障害物があると赤外線による通信ができず、サーキュレーターが運転しなかったり、除湿機に合わせた分離連動運転がおこなえない場合があります。



■除湿機単独で使用するとき

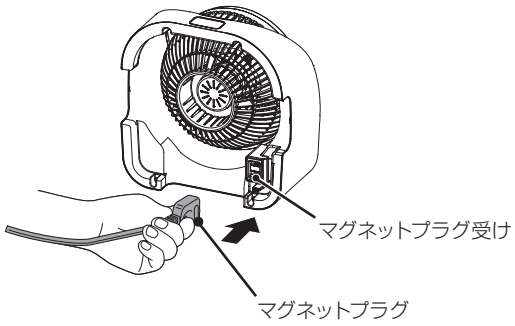
除湿機からサーキュレーターを取りはずし設置します。
サーキュレーター電源コード（付属品）の電源プラグは使用しません。



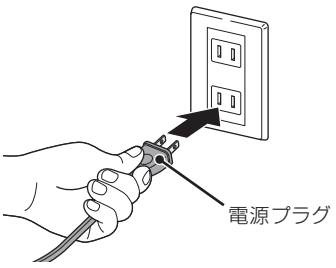
■サーキュレーター単独で使用するとき

サーキュレーターの操作部を上にして設置します。

①除湿機本体に収納されている電源コード（付属品）のマグネットプラグ側をサーキュレーターのマグネットプラグ受けに接続する。



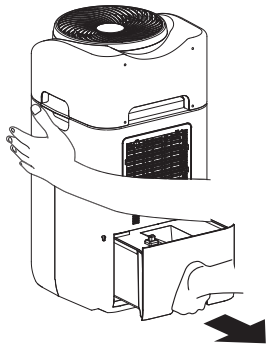
②電源プラグ側を交流100Vのコンセントに差し込む。



運転前の確認

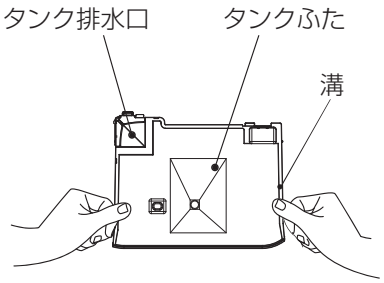
1. タンクを取り出す

■片手で本体を押さえながら、タンクをゆっくり取り出してください。



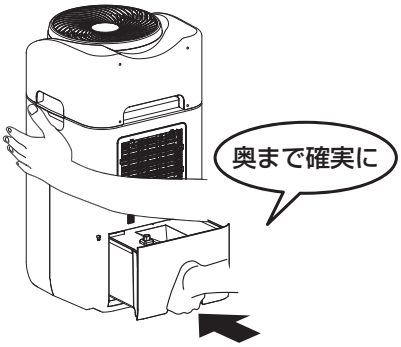
2. タンクを確認する

■タンクふた外周の溝がタンクにしっかりはめ込まれていること、タンク排水口が確実に閉まっていることを確認してください。タンクふたがはずれている場合は「お手入れのしかた」をご参照ください。（☞ 24、25ページ）



3. タンクを本体に戻す

■片手で本体を押えながら、タンクをゆっくり奥まで確実に入れてください。

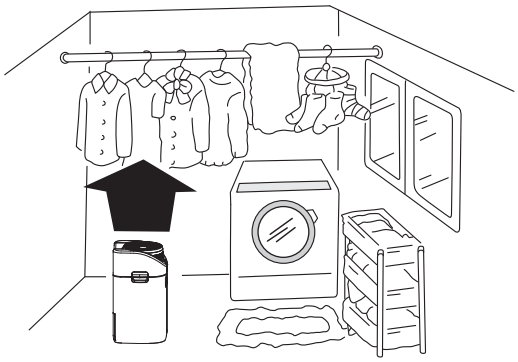


お願い

■タンクふた、タンク排水口が確実に閉まっていることを確認してください。タンクの出し入れができないことがあります。
■タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水表示が点滅して運転を開始できません。

衣類乾燥の上手な使いかた

上手に使うことで、洗濯物をより効果的に乾かすことができます。
洗濯物を早く乾かすには「お部屋の温度を上げること」「お部屋の湿度を下げること」「洗濯物に風をよく当てること」がポイントです。

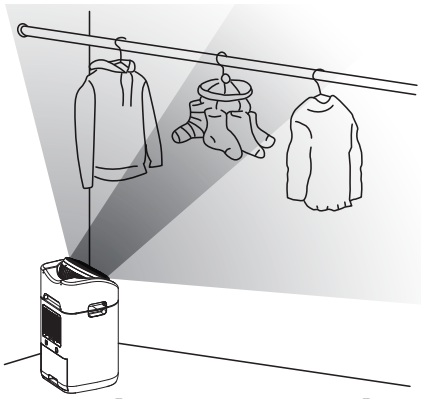


■洗濯物を干すお部屋について

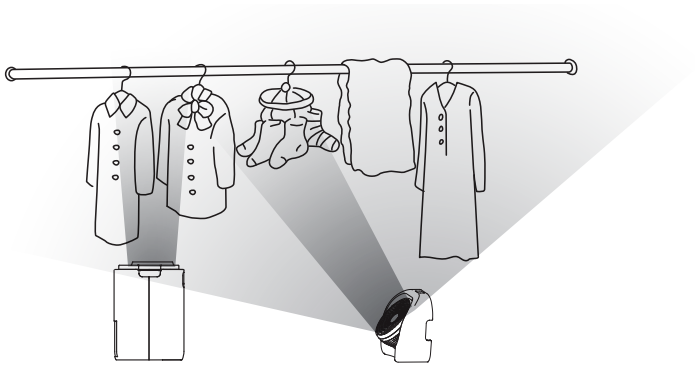
■小さなお部屋で、閉めきって運転すると効果的です。
■乾いたらなるべく早く取り込んでください。
梅雨時や雨の日などは、乾いても干したままにしておくと、また湿気を吸収します。

■洗濯物に合わせた使いかた

■一体や分離、除湿機単独、サーキュレーター単独の４通りの使いかたができます。
衣類乾燥には一体と分離での使用がおすすめです。
■一体と分離は、設置条件や洗濯物の量によって使い分けることで早く乾かすことができます。
■物干しハンガーが高い位置にある場合や厚手の洗濯物が多い場合は一体での使用がおすすめです。
少量の洗濯物を早く乾かしたいときや機具の前方に洗濯物を干す場合にもおすすめです。
■物干しハンガーが低い位置にある場合や薄手の洗濯物が多い場合は分離での使用がおすすめです。
2列干しの場合にも分離がおすすめです。



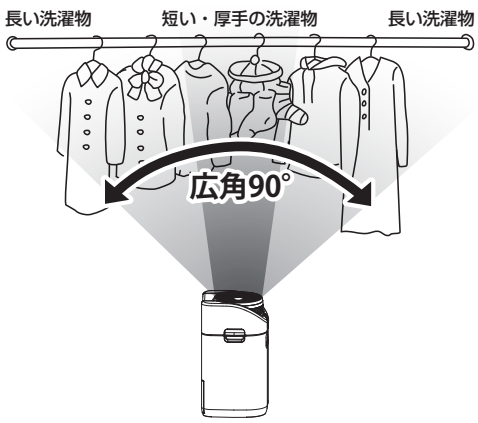
【一体で使用する場合】



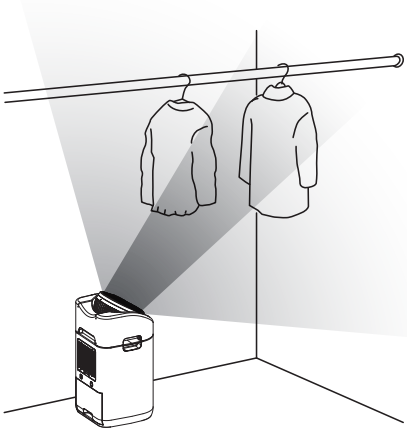
【分離で使用する場合】

■一体で使用するときの機具の設置、洗濯物の並べかたについて

■洗濯物に風が当たるように設置し、風向を調節（☞ 17ページ）してください。
サーキュレーターをスイングさせると効果的です。
■洗濯物の下から風を当てるように設置すると、より早く乾きます。
■洗濯物の下から風を当てる場合は、機具の真上には短い洗濯物、機具から離れるにつれて長い洗濯物を干すと、洗濯物に万遍なく風が当たるため、早く乾き、乾きムラも減らせます。
洗濯物が風で膨らんだり、揺れている様子でよく風が届いているか確認することができます。
■横から風を当てる場合は、一番遠い洗濯物に風が届いていることを確認してください。
■厚手の洗濯物は乾くまでに時間がかかります。風がよく当たる機具の真上または前方に優先して干してください。



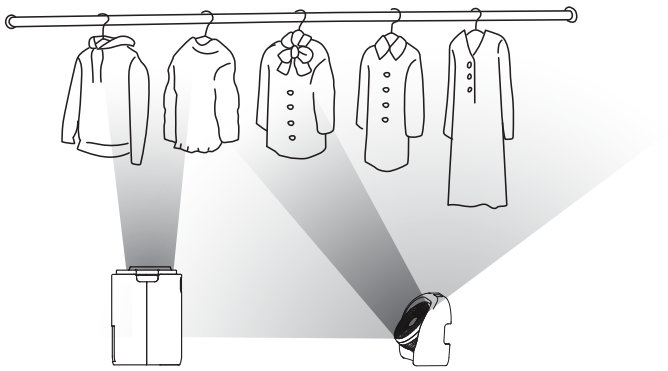
【真上に干す場合】



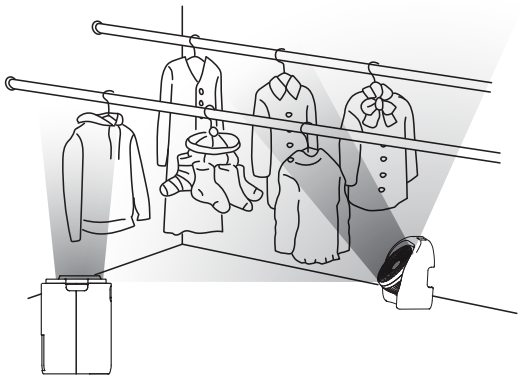
【横に干す場合】

■分離で使用するときの機具の設置、洗濯物の並べかたについて

■洗濯物に除湿機の風とサーキュレーターの風が当たるように設置し、風向を調節（☞17ページ）してください。
サーキュレーターをスイングさせると効果的です。
■除湿機、サーキュレーターともに洗濯物の下から風を当てるように設置するとより早く乾きます。
■洗濯物の下から風を当てる場合は、除湿機の真上には厚手の洗濯物、サーキュレーターの真上には薄手の洗濯物を干すと、効率的に乾かすことができます。
■2列干しの場合にも、除湿機の真上には厚手の洗濯物、サーキュレーターの真上には薄手の洗濯物を干してください。
このとき、サーキュレーターは2列とも風が当たるように設置してください。



【真上に干す場合】



【2列干しの場合】

お知らせ

■分離で使用するときは、洗濯物の乾燥具合に合わせてサーキュレーターの風量やスイング角度、スイングスピードが自動で変化して衣類乾燥に最適な分離連動運転をおこないます。

■洗濯物の干しかたについて

■洗濯物を干すときは、適度に間隔をあけてください。風がとおりやすくなり、乾きムラを減らすことができます。
■洗濯物のシワは伸ばし、ジーンズやスカートなどは裏返しにして風通りをよくすると乾きやすくなります。
■ときどき洗濯物の並べかたをかえたり、機具の位置をかえたりすると乾きやすくなります。

次の場合、洗濯物の乾きにムラがでることがあります

■洗濯物の量が多いとき
■洗濯物を重ねて干しているとき
■洗濯物に風が当たりにくいとき
機具を置く位置や洗濯物を干す位置をかえて、洗濯物に風が当たるようにしてください。
■お部屋の温度が低いとき
低温時は、常温時よりも乾燥に時間がかかり、乾く前に運転を停止することがあります。除湿機のヒーターを使用するか、暖房機器の併用をおすすめします。
■お部屋が広いとき
お部屋の湿度が下がりにくいため、乾燥に時間がかかり、乾く前に運転を停止することがあります。

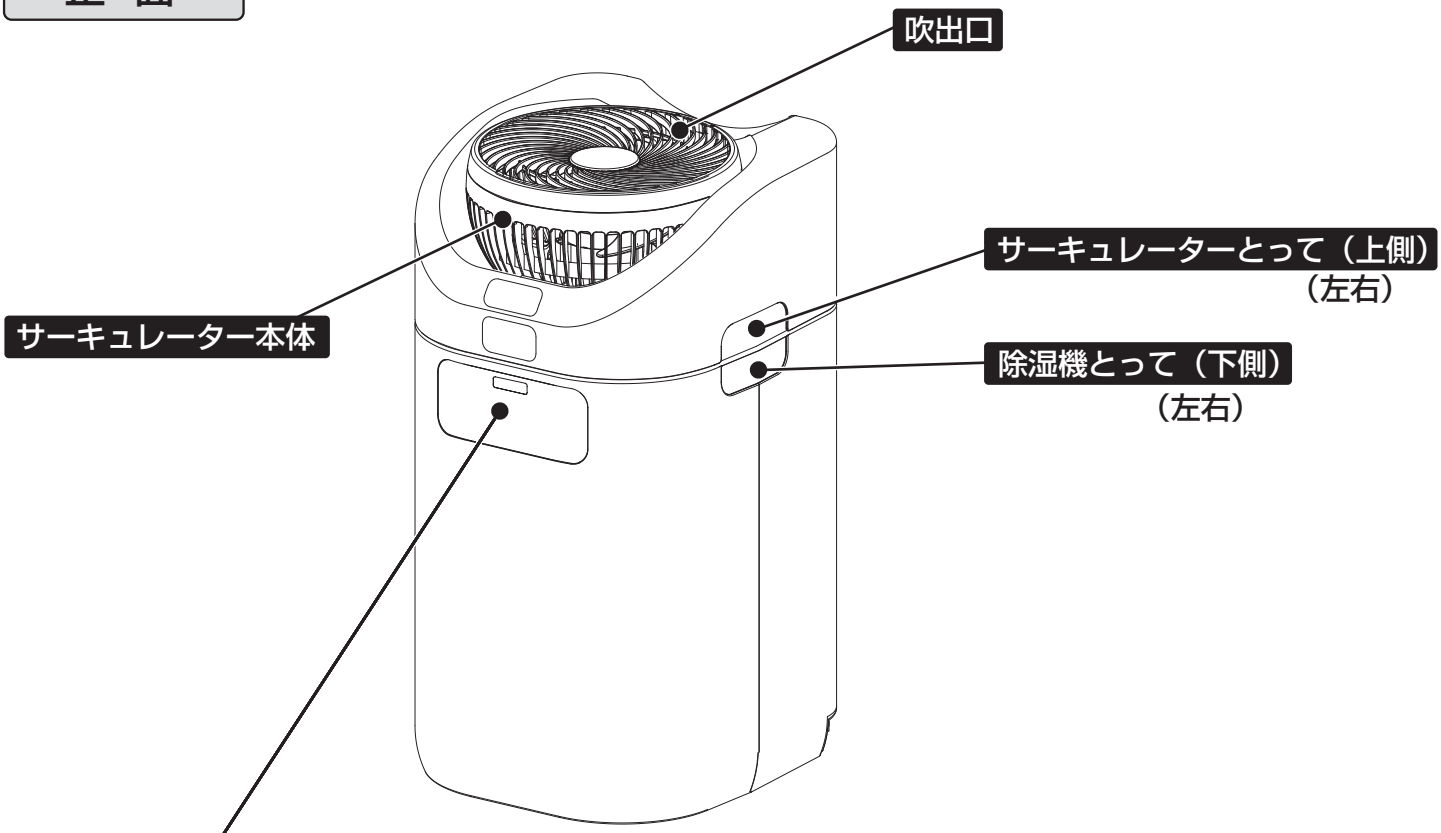
⚠警告	禁止	**洗濯物や袋などをかけたり、ふさぐなどして運転しない** 風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になります。
	禁止	**燃焼器具に直接風があたる所で除湿機やサーキュレーターを使わない** 燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。
⚠注意	必ず守る	**サーキュレーターはカーテンや紐などを巻き込まない場所に設置する** 破損やけがの原因になることがあります。

お願い

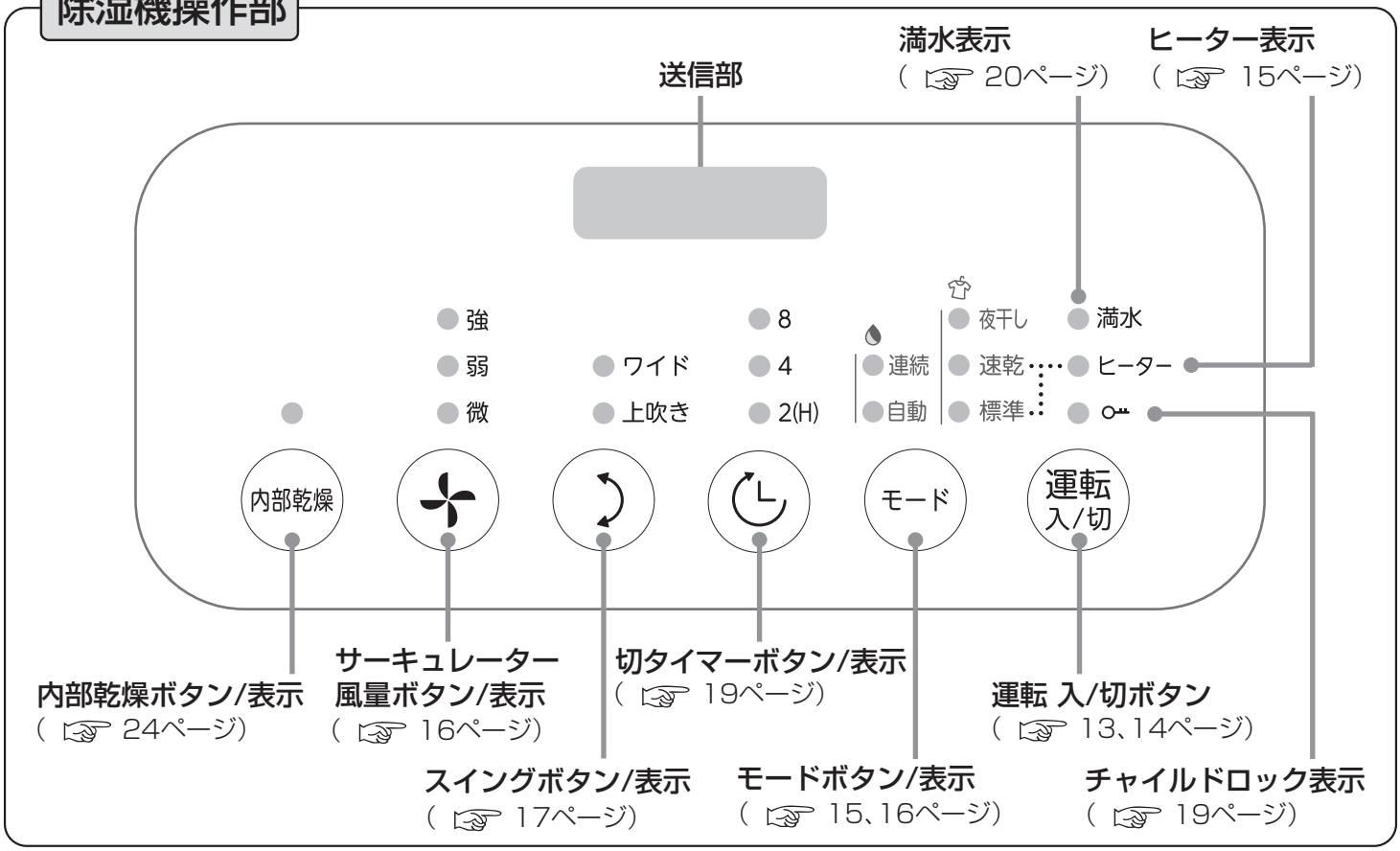
■洗濯物の乾きが不十分なときは再び運転してください。
■洗濯物を機具の真上に干す場合は、洗濯物が落下してサーキュレーターや除湿機の吹出口と吸込口をふさがないように注意してください。

各部のなまえとはたらき

正 面



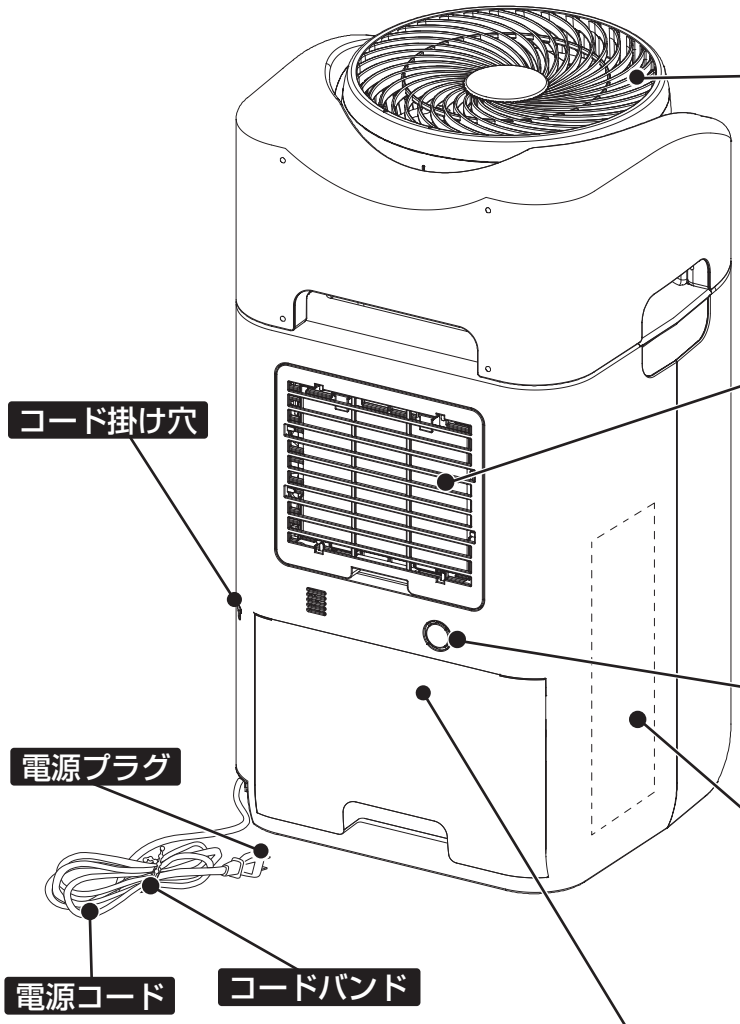
除湿機操作部



お知らせ

■操作部の表面に保護シートを貼っていますので、はがしてご使用ください。

背 面



ガード（吹出口）

フィルターケース（吸込口）

エアフィルター

吸い込まれる空気中のほこりやゴミを取り除きます。
室内の湿った空気を吸い込みます。
（ ☞ 25ページ）
（フィルターケースにセットされています）

コード掛け穴

連続排水穴

市販のホースを取り付けて、連続排水できます。
（ ☞ 22ページ）

電源プラグ

型式・製造年

銘板に表示されています。

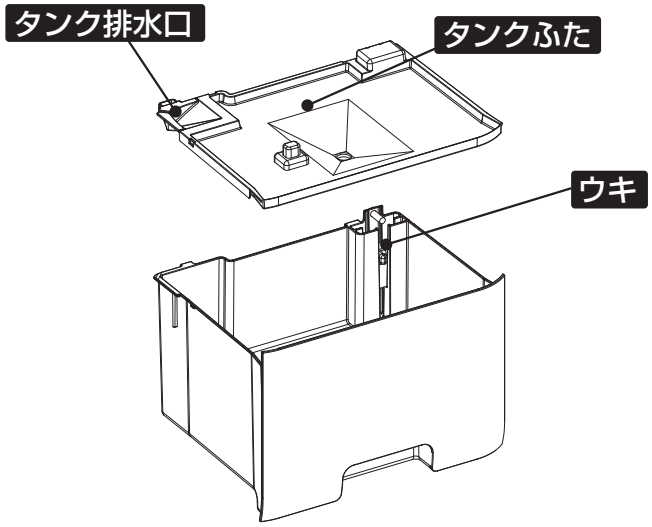
電源コード

コードバンド

タンク

除湿した水をためます。
満水になると、自動的に運転が停止します。（ ☞ 20ページ）

お買いあげ時、タンクに水が残っている場合がありますが、工場での除湿テストによるもので異常ではありません。



タンク排水口

タンクふた

ウキ

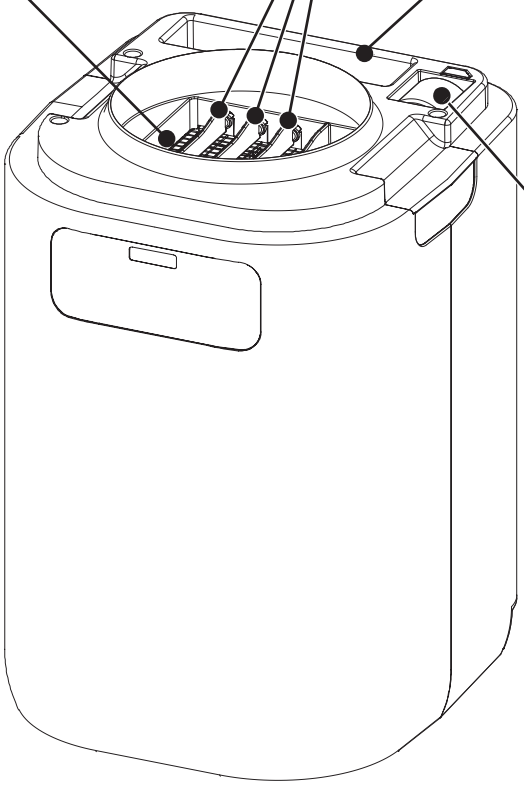
お願い

■タンク内のウキははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。

除湿機

吹出口

ルーバー(3枚)



付属品

サーキュレーター電源コード

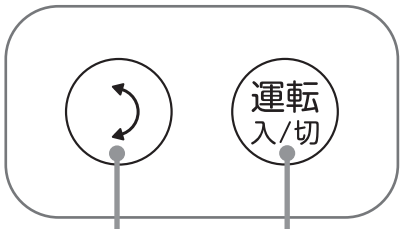


■ご使用の際には電源コードを束ねている結束バンドをはずしてください。
■電源コードは束ねて使用しないでください。
（電源コードが熱くなり故障の原因になります。）

シャッター

サーキュレーターを除湿機の上にのせると自動で開きサーキュレーターに電源を供給します。

サーキュレーター操作部



運転 入/切ボタン
（ ☞ 18ページ）

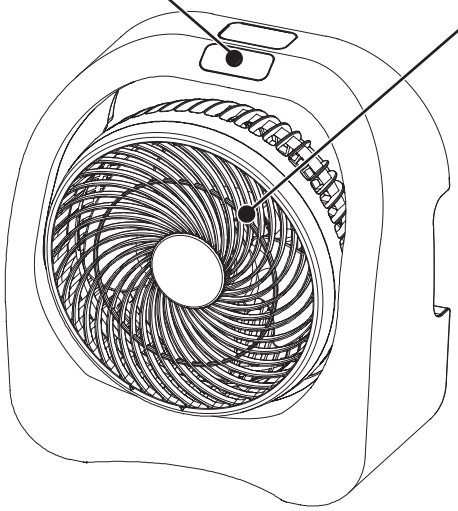
スイングボタン
（ ☞ 18ページ）

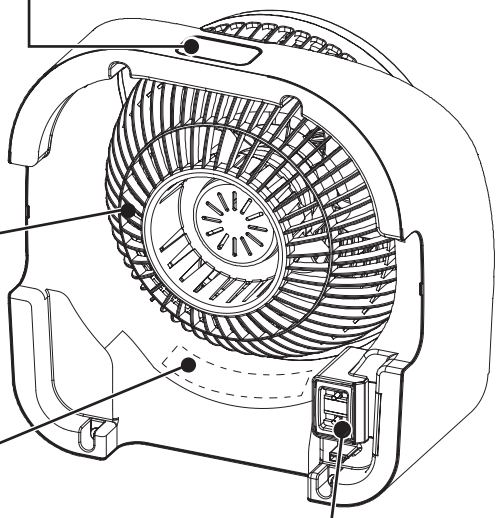
サーキュレーター

受信部

ガード

羽根





サーキュレーター本体

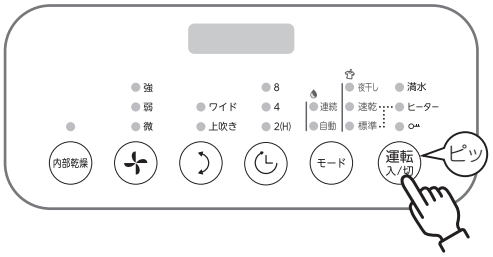
型式・製造年（サーキュレーター）
銘板に表示されています。

マグネットプラグ受け

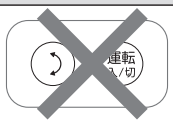
運転のしかた「一体で使用するとき」

1. 運転を開始する

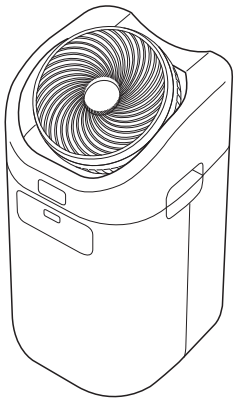
除湿機操作部



サーキュレーター操作部

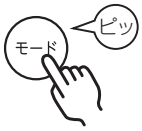


■一体で運転するときはサーキュレーターの操作部は受け付けません。



2. お好みの運転モードを選ぶ

除湿機操作部



を押す

■衣類乾燥をしたいとき（ ☞ 15ページ）

■除湿をしたいとき（ ☞ 16ページ）

■空気を循環したいとき（ ☞ 16ページ）

標準（ヒーターOFF）
▼
標準（ヒーターON）
▼
速乾
▼
夜干し
▼
自動
▼
連続
▼
消灯（サーキュレーター運転）

3. お好みの風量、風向を選ぶ

■風量を変更したいとき

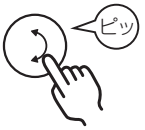
除湿機操作部



を押す （ ☞ 16ページ）

■風向を変更したいとき

除湿機操作部



を押す （ ☞ 17ページ）

4. 運転を停止する

各表示が消灯し、運転を停止します。
自動内部乾燥（☞ 24ページ）を設定しているときは、
運転停止後、自動的に内部乾燥運転をおこないます。

除湿機操作部



を押す

お願い

■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜いたり、除湿機本体からサーキュレーターをはずさないでください。ヒーターを使用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30秒～約60秒間自動的に送風運転をおこないます。

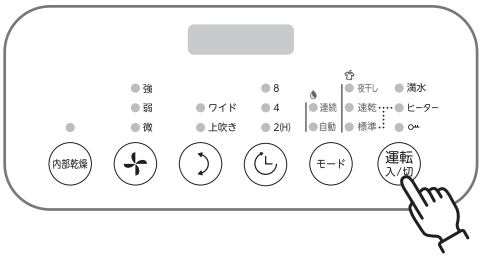
お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込んで「運転 入/切ボタン」を押すと、初回は衣類乾燥運転の「標準（ヒーターOFF）」で運転を開始します。次回以降は、前回と同じ運転モードで運転を開始します。
■運転モードを切りかえると、サーキュレーター風量は各運転モードの初期設定に戻ります。
■運転を停止してすぐに再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。
■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がることがあります。
■切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。
■除湿機のタンクが満水になると、サーキュレーターも運転を停止します。

運転のしかた「分離で使用するとき」

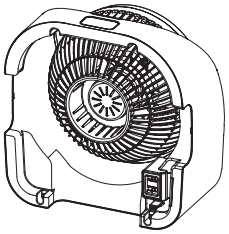
1. 運転を開始する

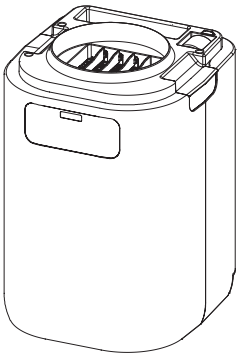
除湿機操作部



サーキュレーター操作部

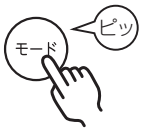






■除湿機操作部の「運転 入/切ボタン」で運転を開始すると、サーキュレーターも自動で運転を開始します。
■サーキュレーターの風量、風向は除湿機操作部から変更できます。
■衣類乾燥運転の「標準」、除湿運転の「自動」では洗濯物の乾き具合やお部屋の状態に合わせて、除湿機とサーキュレーターの連動運転をおこないます。
■除湿機とサーキュレーターの間に洗濯物等の障害物があると赤外線による通信ができず、連動運転できない場合があります。
■サーキュレーターを途中で停止して再運転したい場合は、サーキュレーター操作部の「運転 入/切ボタン」で運転を再開するか、除湿機を停止させてから、再運転してください。
サーキュレーターは、除湿機に連動した運転をおこないます。
■サーキュレーター側で運転を停止すると、除湿機の赤外線による通信は除湿機を停止するまでおこないません。
■近くで複数台のサーキュレーター連動除湿機を使用した場合は混信により、運転が変わることがあります。

2. お好みの運転モードを選ぶ

除湿機操作部 

を押す

■**衣類乾燥をしたいとき**（ ☞ 15ページ）

■**除湿をしたいとき**（ ☞ 16ページ）

■**空気を循環したいとき**（ ☞ 16ページ）

標準 (ヒーターOFF)
▼
標準 (ヒーターON)
▼
速乾
▼
夜干し
▼
自動
▼
連続
▼
消灯(サーキュレーター運転)

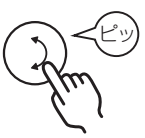
3. お好みの風量、風向を選ぶ

■**風量を変更したいとき**

除湿機操作部 

を押す （ ☞ 16ページ）

■**風向を変更したいとき**

除湿機操作部 

を押す （ ☞ 17ページ）

4. 運転を停止する

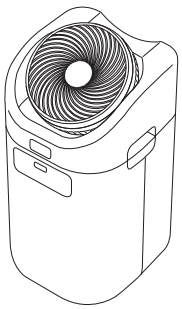
各表示が消灯し、サーキュレーターも運転を停止します。
自動内部乾燥（ ☞ 24ページ）を設定しているときは、
運転停止後、自動的に内部乾燥運転をおこないます。

除湿機操作部 

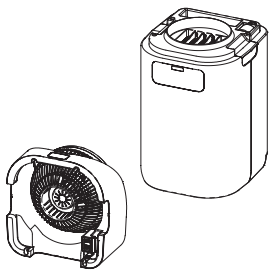
を押す

衣類乾燥をしたいとき

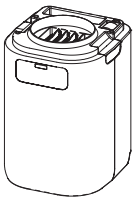
【一体】



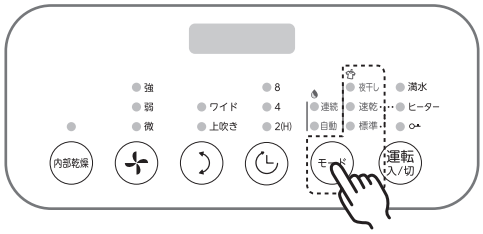
【分離】



【除湿機単独】



除湿機操作部



■一体で使用するか、分離で使用するかはお部屋の広さや洗濯物の量、干しかたに応じて使い分けます。

運転表示	運転内容
標準（ヒーターOFF）	…電気代をおさえて乾かしたいとき（自動停止） ■ヒーターを使用しないで、電気代をおさえて乾かします。 ■除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、洗濯物が乾いた頃に運転が自動停止します。 ■分離で運転する場合は除湿機本体が洗濯物の乾き具合を判断し、サーキュレーターの風量や風向きを自動で切りかえ、仕上げ運転をおこないます。（連動運転）
標準（ヒーターON）	… 速く乾かしたいとき（自動停止） ■ヒーターを使用して運転します。 ■除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、洗濯物が乾いた頃に運転が自動停止します。 ■分離で運転する場合は除湿機本体が洗濯物の乾き具合を判断し、サーキュレーターの風量や風向きを自動で切りかえ、仕上げ運転をおこないます。（連動運転）
速乾	…速く乾かしたいとき ■ヒーターを使用して運転します。 ■強風で連続衣類乾燥運転をおこないます。
夜干し	…静かに乾かしたいとき ■ヒーターを使用しないで、音ひかえめで運転します。 ■衣類乾燥運転の「標準」よりも乾燥に時間がかかります。 タンクが満水になると送風運転となり継続して洗濯物を乾かします。

お願い

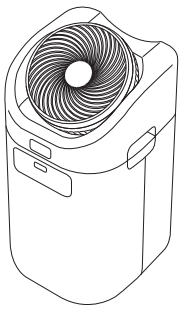
■洗濯物が乾く前にタンクが満水で自動停止するのを防止するため、タンクの水をすててから運転を開始してください。
■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜いたり、サーキュレーターを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。ヒーターを使用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30秒～約60秒間自動的に送風運転をおこない、その後運転停止します。

お知らせ

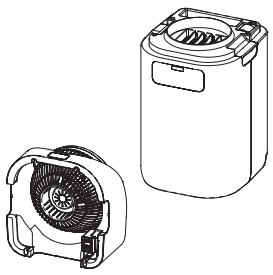
■衣類乾燥運転の「標準」で運転中に切タイマーを設定すると、自動停止より切タイマーが優先されます。
そのため設定時間によっては、洗濯物が乾く前に停止したり、乾いた後も運転し続けることがあります。
■衣類乾燥運転の「標準」では、洗濯物の量・種類・干しかた、お部屋の環境によって洗濯物が乾く前に自動停止したり、乾いた後も運転し続ける場合があります。
■切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

除湿／空気を循環したいとき

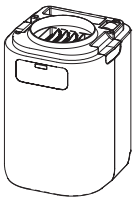
【一体】



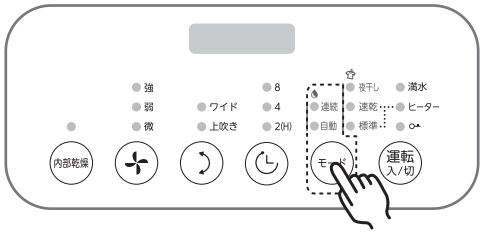
【分離】



【除湿機単独】



除湿機操作部



運転表示



運転内容

…快適な湿度を保ちたいとき

■除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、湿度約60%を目標に除湿運転と送風運転を繰り返します。

■分離で運転する場合、室温が約10℃以下では自動でヒーターを使用して吹き出す温度を上げます。
（室温が約10℃以上のときは、ヒーターを使用しないで運転します。）

■分離で運転する場合は除湿機本体が除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、サーキュレーターの風量や風向きを自動で切りかえ、電気代を節約して運転をおこないます。（連動運転）

…急いで湿気をとりたいとき

■お部屋の湿度に関係なく、連続で除湿運転をおこないます。

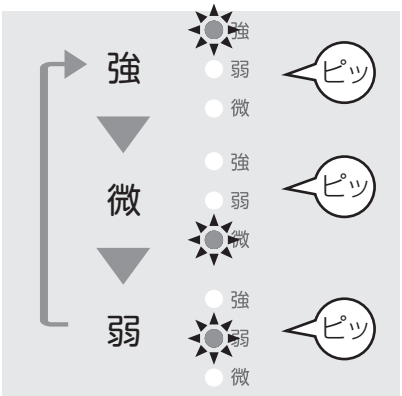
……送風だけしたいとき

■お部屋の湿度に関係なく、サーキュレーターのみ運転して送風運転をおこないます。

風量を選ぶとき

除湿機操作部の「サーキュレーター風量ボタン」（）を1回押すごとに、強⇒微⇒弱⇒強⇒…と切りかわります。

運転表示



運転内容

…強風で運転したいとき

…微風で運転したいとき

…弱風で運転したいとき

お願い

■運転を停止した直後に、サーキュレーターを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。

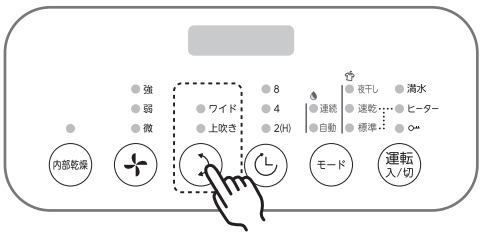
■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜いたり、サーキュレーターを取り付けたり、取りはずしたりしないでください。ヒーターを使用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30秒～約60秒間自動的に送風運転をおこない、その後運転停止します。

お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込んで「運転 入/切ボタン」を押すと、初回は衣類乾燥運転の「標準（ヒーターOFF）」で運転開始します。次回以降は、前回と同じ運転モードで運転します。

風向を選ぶとき

除湿機操作部

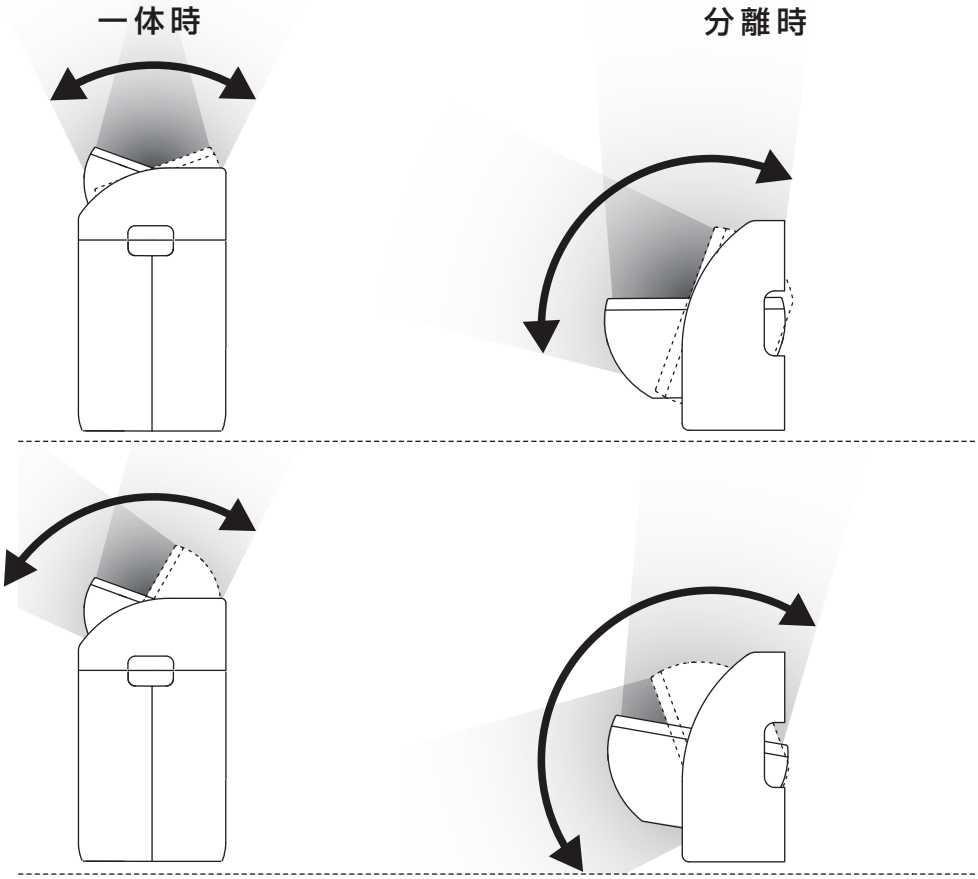


■サーキュレーターの風向

除湿機操作部の「スイングボタン」を押すとスイング範囲を選ぶことができます。

サーキュレーターのスイング範囲は一体で使用するときと分離で使用するときで異なります。

運転表示	運転内容
上吹き（ワイド／上吹き）ピッ	一体時 / 分離時
ワイド（ワイド／上吹き）ピッ	一体時 / 分離時
消灯（停止）（ワイド／上吹き）ピピッ	

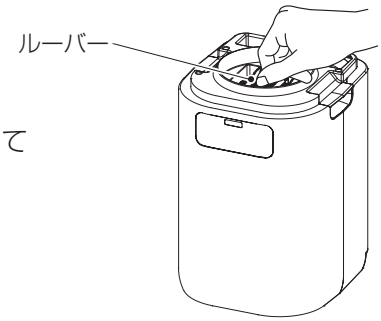


サーキュレーターをお好みの角度で止めたいとき

「ワイド」スイング中にお好みの位置になったところで「スイングボタン」を押して停止させてください。

■除湿機の風向（手動ルーバー3枚）

除湿機本体のルーバーを左右に手動で調節することができます。



「一体で使用するとき」

サーキュレーターを除湿機本体に取り付けるときは除湿機本体のルーバーを上向きにしてください。上向きにしない場合は保護制御によりヒーターが停止することがあります。

「分離で使用するとき」

ルーバーを手動で調節してお好みの風向でご使用ください。

お願い

■サーキュレーター本体の風向は手で動かさないでください。サーキュレーターが故障する原因になります。
■近くで複数台使用した場合は混信によりスイング角度が変わることがあります。

お知らせ

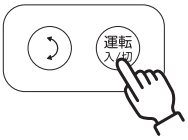
■吹き出し方向によって、送風音がかわります。
■位置合わせのためサーキュレーターが一時的に止まることがありますが、その後動き出します。
■分離で使用するとき、サーキュレーター操作部の「スイングボタン」で先にスイングした場合、除湿機操作部で運転開始するとスイングは一度停止する場合があります。

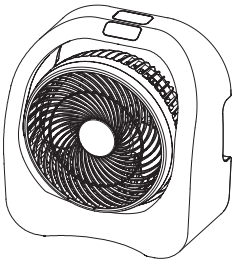
サーキュレーター単独で運転したいとき

1. サーキュレーター操作部で運転を開始する

サーキュレーター操作部の「運転 入/切ボタン」を押して運転開始します。

サーキュレーター操作部





2. スイングをおこなう

サーキュレーター操作部の「スイングボタン」を押すと「ワイド」でスイングを開始します。

サーキュレーター操作部



サーキュレーターをお好みの角度で止めたいときはお好みの位置になったところで再度サーキュレーター操作部の「スイングボタン」を押してください。

3. お好みの風量を選ぶ

サーキュレーター操作部での風量切りかえはできません。

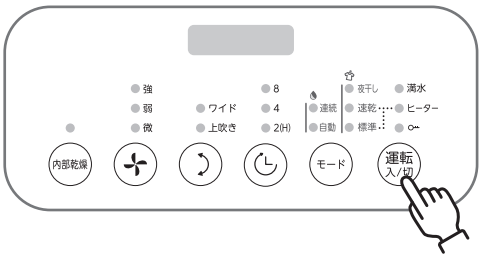
4. サーキュレーターの運転を停止する

サーキュレーター操作部の「運転 入/切ボタン」を押して運転停止します。

1. 除湿機操作部で運転を開始する

除湿機操作部の「運転 入/切ボタン」を押して運転開始します。「モードボタン」を押して表示が消灯するとサーキュレーター単独で運転開始します。

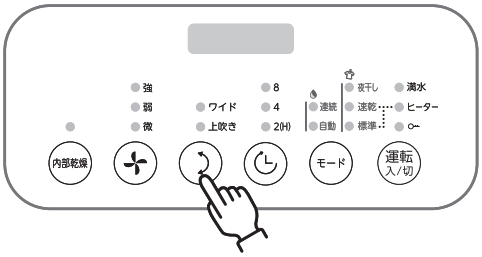
除湿機操作部



2. スイングをおこなう

除湿機操作部の「スイングボタン」を押してスイングを開始します。

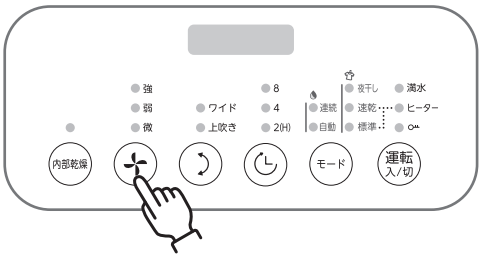
除湿機操作部



3. お好みの風量を選ぶ

除湿機操作部の「サーキュレーター風量ボタン」を押して風量を切りかえます。

除湿機操作部



4. サーキュレーターの運転を停止する

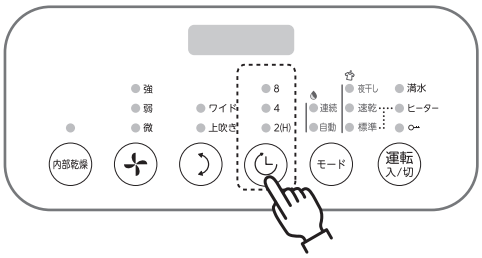
除湿機操作部の「運転 入/切ボタン」を押して運転停止します。

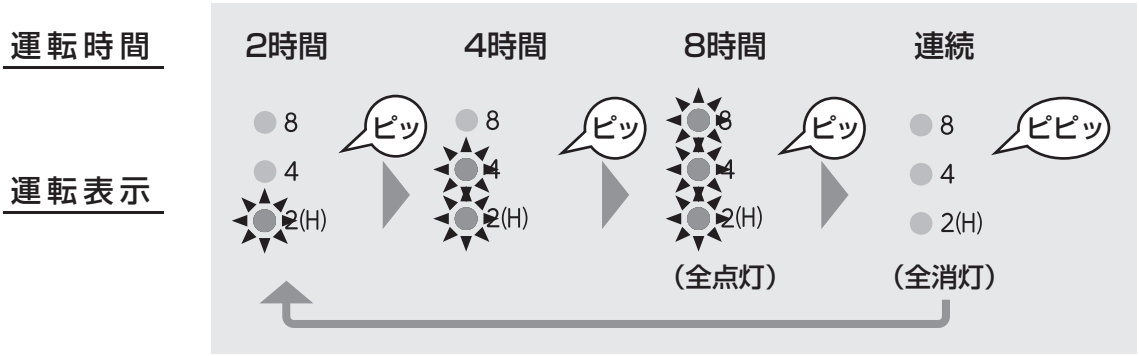
お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込んでサーキュレーター操作部の「運転 入/切ボタン」を押すと、サーキュレーター単独では「強風」で運転します。
除湿機操作部で運転状態の変更をおこなった場合は、次回以降は前回と同じ状態で運転開始します。
■近くで複数台のサーキュレーター連動除湿機を使用した場合は混信により、運転が変わることがあります。
■除湿機操作部で操作をおこなった後に、サーキュレーター操作部で運転を停止した場合は除湿機操作部でも運転を停止してください。

切タイマーを使うとき

除湿機操作部





1. 運転中に「切タイマーボタン」(🕒) を押して、2時間⇒4時間⇒8時間⇒連続を切りかえる

■設定した運転時間が経過すると運転を停止します。
■切タイマー表示は時間の経過とともに、残り時間を表示します。
■残り時間表示中に「切タイマーボタン」を押すと、切タイマー時間が表示されている時間に再設定されます。

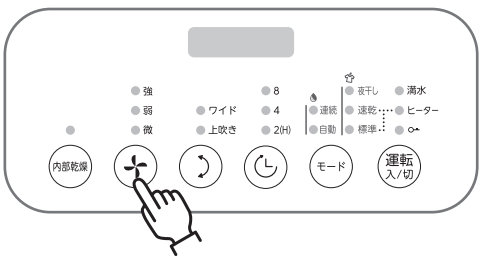
お知らせ

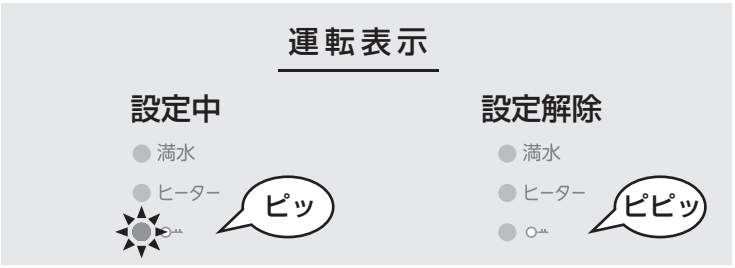
■切タイマーを設定すると、衣類乾燥運転の「標準」の自動停止より優先されます。
そのため設定時間によっては、洗濯物が乾く前に停止したり、乾いた後も運転し続けることがあります。
■切タイマー設定中にタンクが満水になり運転が停止すると、タイマーの残り時間は一時停止します。
排水後は、残り時間運転後に、除湿機とサーキュレーターは運転停止します。
■切タイマー設定中に除湿機操作部の「運転 入/切ボタン」で運転を停止させるとタイマーはリセットされます。
■分離で使用するとき、切タイマー設定中にサーキュレーター操作部の「運転 入/切ボタン」でサーキュレーターの運転を開始した場合、設定した時間が経過すると除湿機と同時にサーキュレーターも運転を停止します。

チャイルドロックを使うとき

1. 運転停止中に「サーキュレーター風量ボタン」(🌀) を3秒以上長押しする

除湿機操作部





■サーキュレーターをはずしたり、取り付けたりするとチャイルドロックは解除されます。
■チャイルドロックを設定していても分離で使用するときにサーキュレーター操作部で操作すると、
サーキュレーターは単独で運転ができます。
■もとに戻したい時は、もう一度運転停止中に「サーキュレーター風量ボタン」を3秒以上長押しするか、
電源プラグを抜いてください。

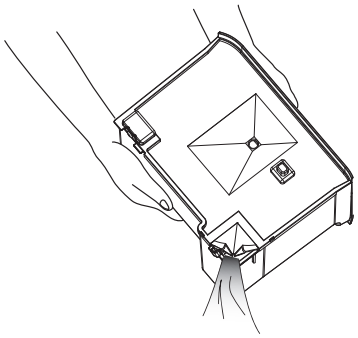
お知らせ

■運転中はチャイルドロックの設定はできません。

移動するとき

⚠注意	必ず守る **移動するときは必ず運転を停止し、タンクの水をすて除湿機を傾けない** 水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

1. 運転を停止し、タンクの水をすてる（ ☞ 21ページ）



2. 左右の除湿機のとってを持って移動する

■除湿機を持ち上げるときは、左右のとってを持ち、傾けないようにしてください。
■サーキュレーターと一体で移動するときは除湿機側のとってを持ってください。
サーキュレーター側のとってを持ち上げるとサーキュレーターがはずれます。
■電源コードを引きずらないでください。
電源コードが傷ついて断線することがあります。



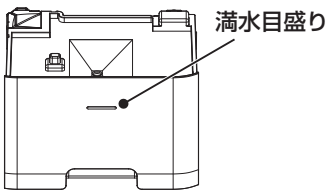
お願い

■除湿機を傾けて移動しないでください。除湿機内の残水がこぼれ床などをぬらす原因になります。

満水のお知らせ

タンクに約3.6Lの水がたまると、自動的に運転を停止し、満水表示の点滅とブザー音で満水をお知らせします。タンク窓の満水目盛りが、満水で停止する目安になります。



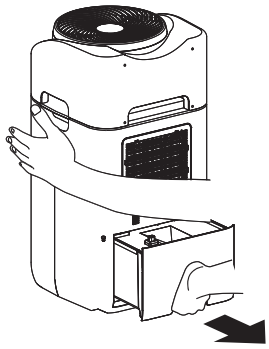


満水ブザー音を鳴らしたくないとき

1. 運転停止中に「スイングボタン」「切タイマーボタン」を同時に３秒以上長押しする（ピッ）

■ブザー音が鳴らなくなります。
■もとに戻したいときは、もう一度運転停止中に「スイングボタン」「切タイマーボタン」を同時に３秒以上長押しするか、電源プラグを抜き差ししてください。

排水のしかた



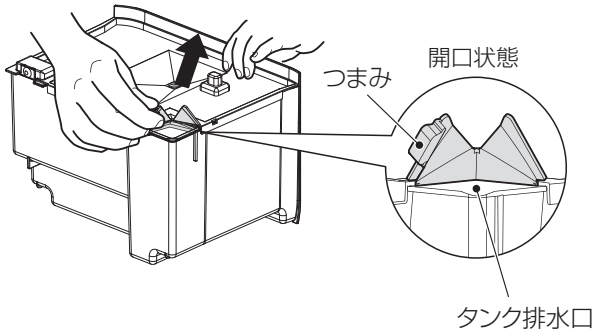
1. 片手で本体を押さえ、タンクをゆっくり取り出す

■運転停止後すぐにタンクを取り出すと、本体内部に残っている除湿水が滴下することがありますので、なるべく３０分以上経ってからタンクをゆっくり引き出してください。（滴下した水はふき取ってください。）

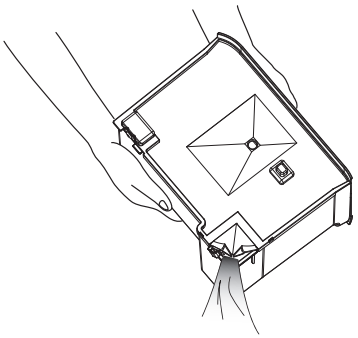
■タンクを持ち運ぶ際は、傾けたり落下させたりしないよう両手で持ち運んでください。

2. タンク排水口を開け、タンクをゆっくり傾けて水をすてる

■タンクふたはお手入れのとき以外ははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。



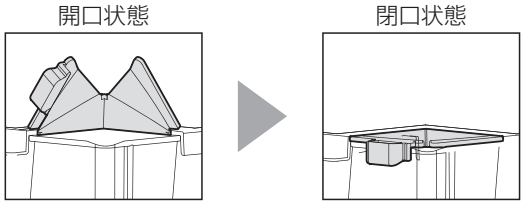
つまみを上げる



ゆっくり傾けてタンク排水口から水をすてる

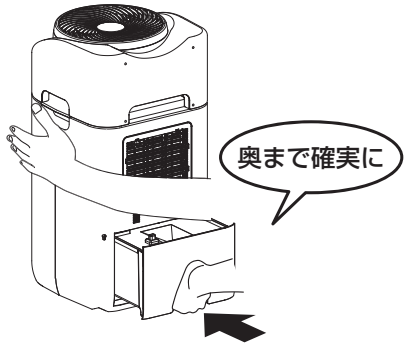
3. タンク排水口を閉める

■つまみを押し下げてタンク排水口を確実に閉め、タンクふたの浮きがないことを確認してください。



4. タンクを本体に戻す

■片手で本体を押さえながら、タンクをゆっくり奥まで確実に入れてください。



お願い

■タンク排水口は確実に閉めてください。タンクの出し入れができないことがあります。

■タンク内のウキははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。

■タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水表示が点滅して運転を開始できません。

お知らせ

■排水時にタンクふたの端から水がもれることがあります。

連続排水のしかた

近くに排水できる場所があれば、市販のホースを取り付けることで連続排水ができます。

⚠注意	
	排水ホースを使用する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにする 排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内にもれて家財などをぬらす原因になることがあります。
	連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする 水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。排水ホースは定期的に点検してください。

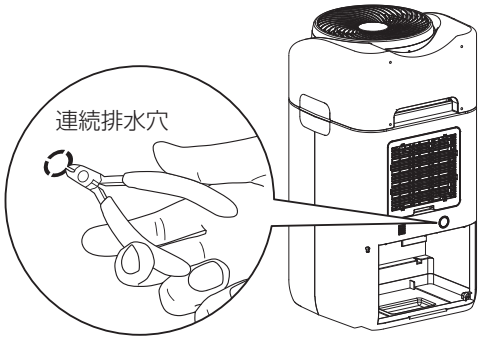
ご用意いただくもの

- 排水ホース（市販のホース、内径15mm～16mm）
- ニッパーなど
- 先端の細いペンチ
- ヤスリ
- 直径3mmの棒状のもの（六角レンチなど）

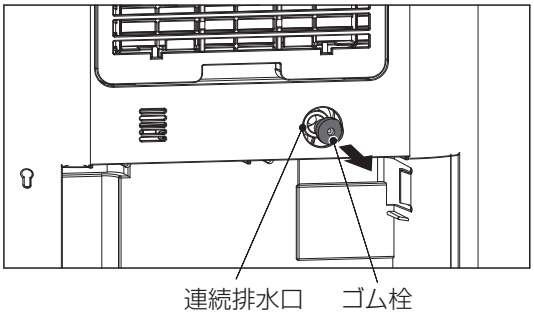
1. 電源プラグをコンセントから抜き、タンクを取り出す

※必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、以下の作業をおこなってください。

2. 本体背面の連続排水穴を開け、連続排水口のゴム栓をはずす



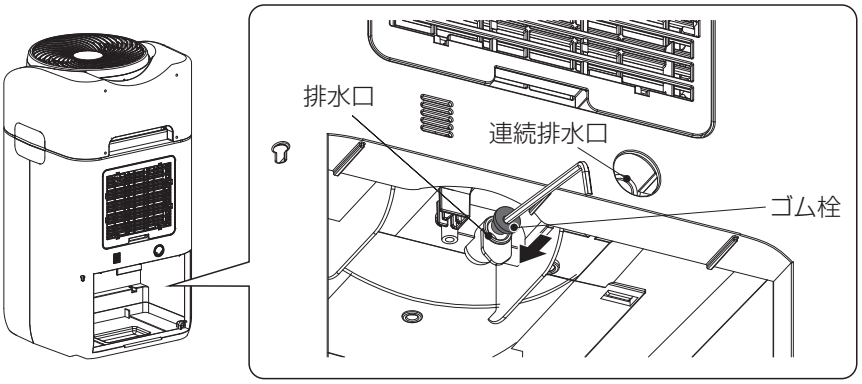
■連続排水穴をニッパーなどで切って取りはずし、切断部をヤスリなどで仕上げてください。
※保護具などを着用して切断部でけがをしないよう注意してください。



■連続排水口の中にある黒色のゴム栓を先端の細いペンチなどで抜き取ってください。
このゴム栓は次の手順で使用します。

3. 連続排水口のゴム栓を、排水口へつけかえる

■ゴム栓を直径３mmの棒状のもの（六角レンチなど）で差して、排水口の奥まで押し込んでください。



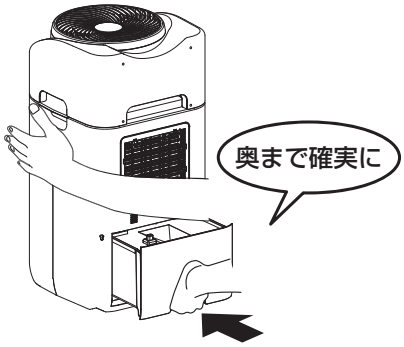
4. 連続排水口に排水ホースを取り付ける

■排水ホースの先を連続排水口にしっかり根もとまで差し込んでください。



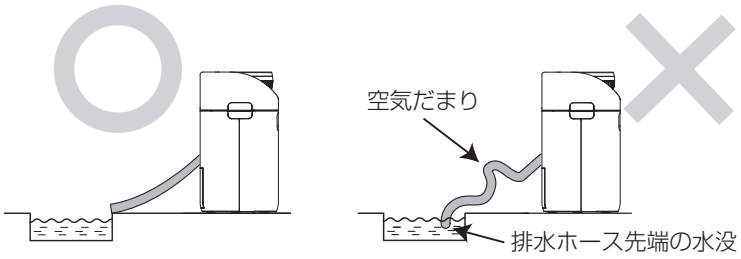
5. タンクを本体に戻す

■タンクを戻さないと運転できません。



6. 試運転をおこなう

■排水ホース取り付け後は試運転をおこない、水もれがないこと、排水ホースから確実に排水されることを確認してください。



お願い

■排水ホースは連続排水口の根もとまで確実に差し込んでください。水もれの原因になります。
■排水ホースは、排水方向に対して必ず下り勾配で取り付け、たわんだり水がたまらない長さに調整してください。
また、排水ホースの先端を水につけたり、途中で高くしたり折り曲げたりしないでください。水もれの原因になります。
■連続排水するときは、定期的に（2週間に1回）エアフィルターの目詰まりや排水ホースの詰まりがないことを点検してください。

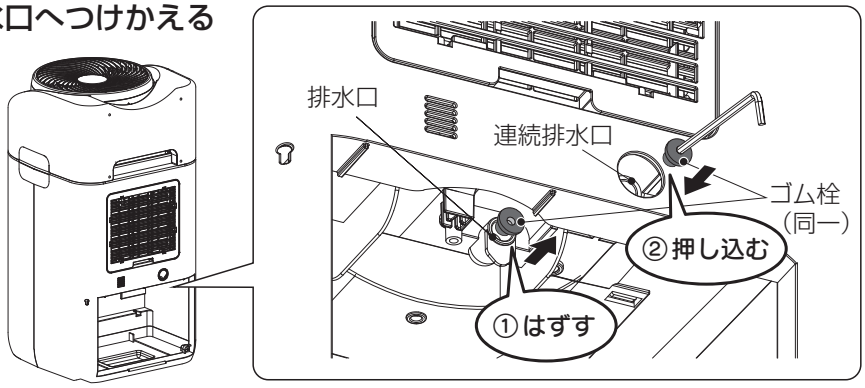
お知らせ

■切り忘れ防止のため、最後に操作してから24時間経過すると運転を停止します。

連続排水をやめてもとに戻したいとき

1. 連続排水口の排水ホースをはずし、タンクを取り出す

2. 排水口のゴム栓をはずし、連続排水口へつけかえる



3. タンクを本体に戻す

お知らせ

■ゴム栓をはずす際に排水口からの水が滴下することがあります。タンク等を受け皿にしてゴム栓をはずしてください。

内部乾燥のしかた

内部乾燥は、除湿機内部を乾燥させ、いやな臭いの原因となるカビや雑菌の繁殖をおさえる機能です。

運転停止中に内部乾燥をおこないたいとき

1. 運転停止中に 内部乾燥 を押す ピッ



（点灯）

■内部乾燥運転は除湿機内部の状態によって約30分～約90分で自動停止します。
■一体で使用するとき内部乾燥運転中は、サーキュレーターは「上向き」で送風運転します。
分離で使用するときはサーキュレーターは運転しません。
運転中は内部乾燥表示が点灯します。
■途中で内部乾燥運転を停止したいときは、「運転 入/切ボタン」を押してください。

お知らせ

■すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、除菌効果はありません。
■除湿機内部にこもった湿気を吹出口より放出するため、お部屋の湿度が上がることがあります。
■満水表示が点滅している（タンクが満水になっている、またはタンクが本体に入っていない）ときは、
内部乾燥運転を開始することができません。

運転停止後に自動的に内部乾燥をおこないたいとき

1. 運転中に 内部乾燥 を押す ピッ



（点灯）

■運転停止後、自動的に内部乾燥をおこないます。
■一度設定すると運転停止時は毎回自動で内部乾燥運転をおこないます。
■自動内部乾燥設定時は常に内部乾燥表示が点灯します。
■もとに戻したいときは、もう一度運転中に「内部乾燥ボタン」を押すか、
電源プラグを抜き差ししてください。

お知らせ

■初回は自動内部乾燥の設定はされていません。
■運転停止中に「内部乾燥ボタン」を押すと、内部乾燥運転をおこないます。その際自動内部乾燥の設定は解除されます。
■電源プラグを抜き差しした後は、自動内部乾燥の設定は解除されます。
■サーキュレーターを取り付けたり、取りはずしをおこなうと設定は解除されます。

お手入れのしかた

⚠警告	禁止	**水につけて直接洗ったり、水をかけたりしない** 内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になります。
⚠注意	禁止	**お手入れをするときは40℃以上のお湯やベンジン、シンナー、みがき粉、エタノール、化学ぞうきんなどを使用したり、殺虫剤をかけない** 本体やタンクを傷め変形や割れ、水もれの原因になることがあります。
	禁止	**タンクからウキをはずさない** タンクが満水になっても運転が停止せず、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

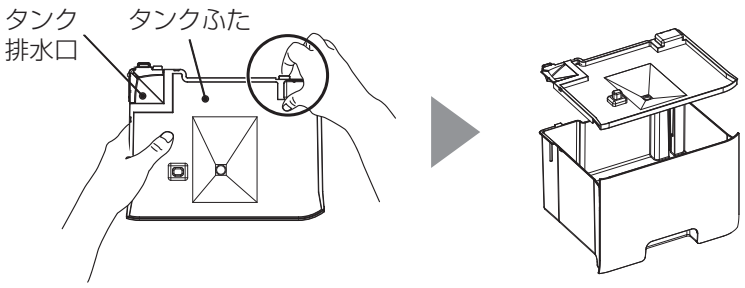


タンクのお手入れ　1週間に1回

1. タンクふたを取りはずす

■タンクふたの丸で囲った部分を持ち上げてはずし、タンクふたを外周の溝にそって両手でタンクからはずしてください。

■タンク排水口を持ってはずすとタンクふたが切れる恐れがあります。

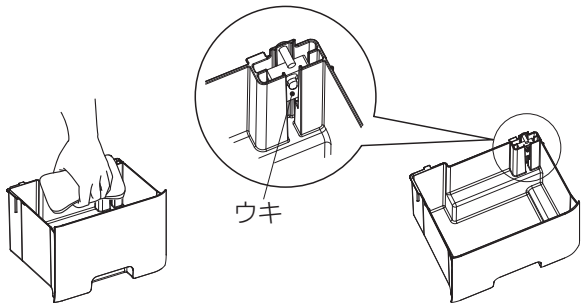


2. タンクふたとタンクを水洗いする

■タンクふたとタンクを水で2～3回すすいでください。

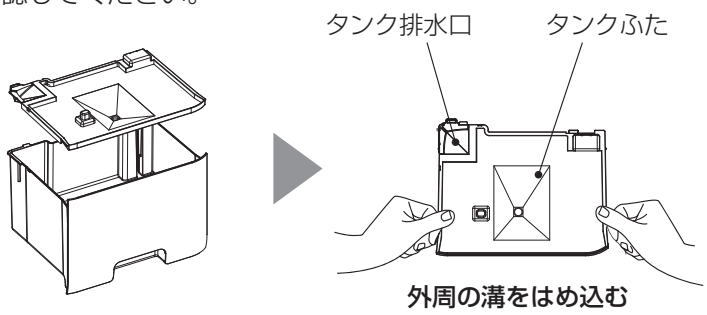
3. 洗い終わったら、柔らかい布で水分をふきとる

■ウキが確実に取り付けられていることを確認してください。



4. タンクふたを取り付ける

■タンクふたを外周の溝にそって両手でタンクにしっかりはめ込んでください。
また、タンク排水口が確実に閉まっていることを確認してください。



外周の溝をはめ込む

お願い

■お部屋の状況によっては空気中の汚れが除湿水に溶け込むため、タンクの内側やタンクふたが黒ずむことがあります。汚れがひどいときは、水またはぬるま湯（40℃以下）でやわらかいスポンジを使って洗ってください。強くこすると傷の原因になることがあります。

■ウキは傷付けないように注意してください。

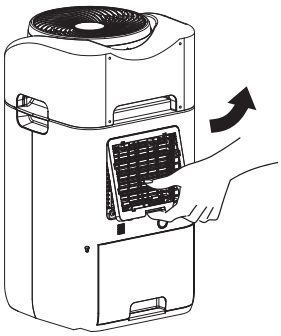
■お手入れ後は、タンクふた、タンク排水口を確実に閉めてください。タンクの出し入れができないことがあります。

エアフィルターのお手入れ　2週間に1回程度

エアフィルターにほこりやゴミがたまると風量が減少し、除湿能力が低下します。

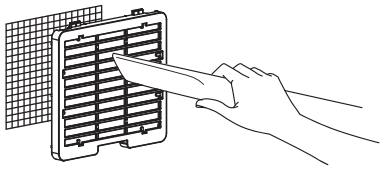
1. フィルターケースを取りはずす

■下側に指をかけ、手前に引いて取りはずしてください。



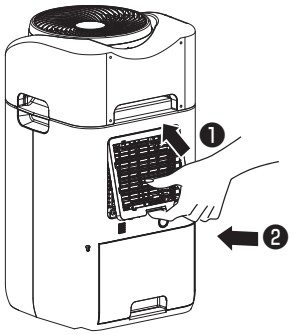
2. フィルターケースからエアフィルターを取りはずし、掃除機を使用するか、軽くたたいてほこりやゴミを取り除く

■掃除機を使用する場合は、エアフィルターを吸い込まないように注意してください。



3. フィルターケースにエアフィルターを取り付けてから、本体に取り付ける

■上側❶をはめ込んでから下側❷をはめ込んでください。



お願い

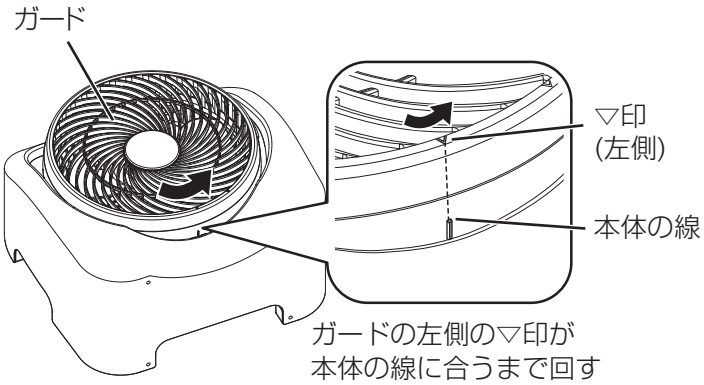
■掃除機を使用するときは、ブラシ付ノズルは使わないでください。破損・変形の原因になります。
■エアフィルターをはずしたまま運転しないでください。除湿機内部にほこりやゴミが入り、故障の原因になります。

⚠警告	必ず守る	**サーキュレーターの羽根やガードの取り付け、組み立ては確実におこなう** 運転中に部品がはずれたり、落下するなどして破損やけがの原因になります。
	プラグを抜く	**お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く** 内部でファンや羽根が高速回転しているため、けがの原因になります。

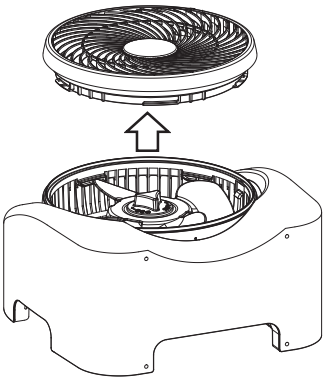
サーキュレーターのお手入れ　2週間に1回

1. ガードを取りはずす

■ガードを反時計回りに回してください。

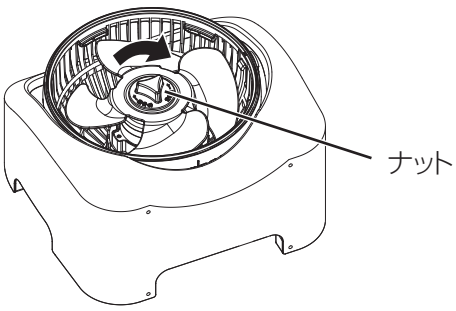


■ガードを持ち上げて取りはずしてください。

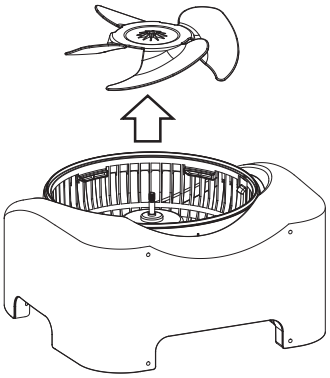


2. 羽根を取りはずす

■羽根を押えながら、ナットを時計回りに回して取りはずしてください。



■モーター軸から羽根を引き抜いてください。



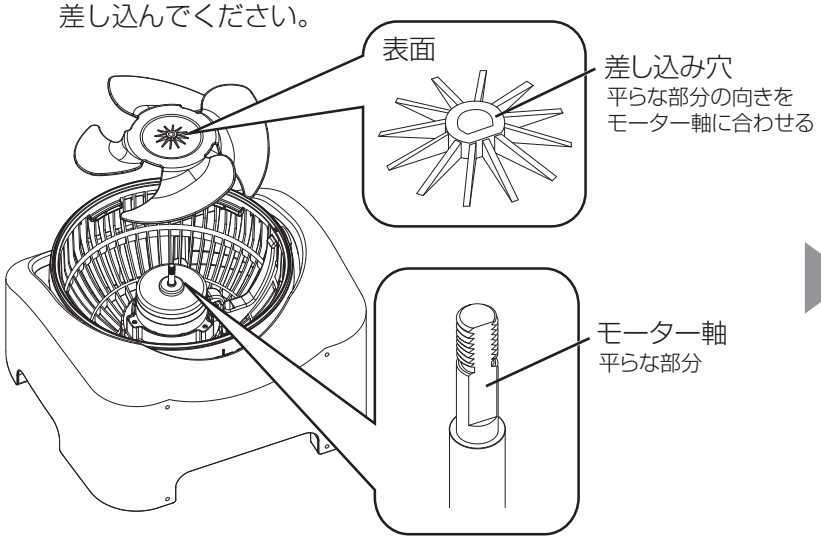
3. ガード、羽根のほこりやゴミを取り除く

■柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた布をかたくしぼってふいてください。

4. 羽根を組み立てる

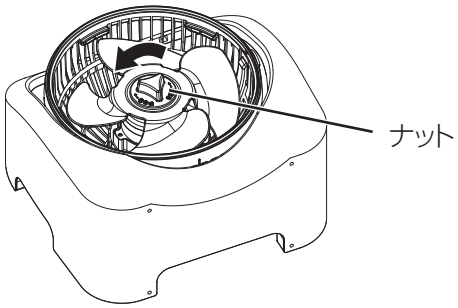
■羽根をモーター軸に差し込んでください。

・羽根は、表裏の向きがあります。
・モーター軸の平らな部分と差し込み穴の平らな部分の向きを合わせて差し込んでください。



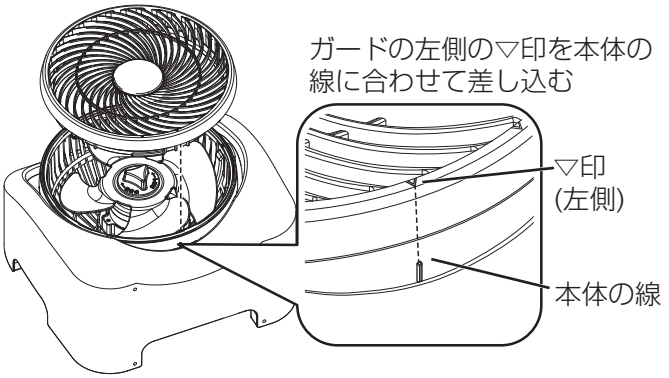
■羽根を押さえながら、ナットを反時計回りに回してしめつけ、羽根を固定してください。

・ナットは傾きがないように注意して組み付けてください。
・ナットはゆるみがないように確実にしめつけてください。

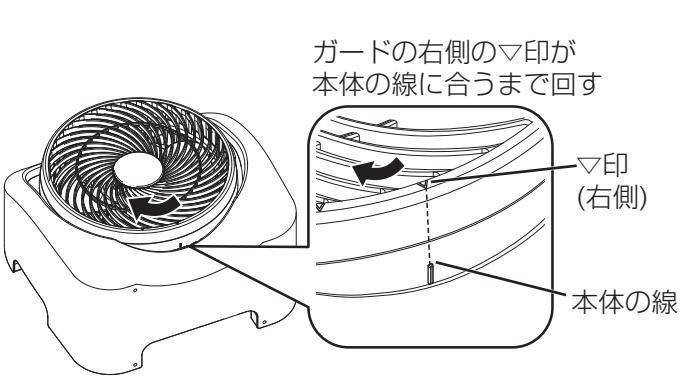


5. ガードを組み立てる

■ガードを本体に差し込んでください。



■ガードを時計回りに回して固定してください。

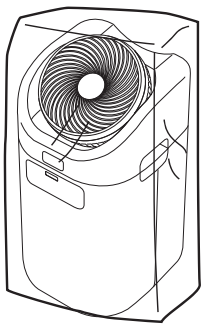


除湿機・サーキュレーターの本体のお手入れ　1ヶ月に1回程度

本体は、柔らかい布でからぶきしてください。
汚れがひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた布をかたくしぼってふいてください。

長期間使わないとき

①内部乾燥をする。（ ☞ 24ページ）
　なるべく1日以上おいて除湿機内部の水が落ちきってから、以下の作業をしてください。
②電源プラグを抜き、タンクの水をすてる。（ ☞ 21ページ）
③タンク、エアフィルター、サーキュレーター、本体のお手入れをする。（ ☞ 24~27ページ）
④サーキュレーターを除湿機にセットし、電源コードをコードバンドでまとめて、本体背面のコード掛け穴に引っ掛ける。（ ☞ 11ページ）
⑤本体にほこりよけのポリ袋などをかぶせ、湿気が少なく直射日光の当たらない水平で安定した場所に、立てたまま保管する。



お願い

■本体は立てたまま保管してください。傾けると、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理・サービスをお申しつけになる前につぎの点をお調べください。

●一体で使用するとき

	症　状	原　因
故障ではありません	運転中なのに送風機だけが運転している	■室温が約40℃以上のときは、機器保護のため送風運転になることがあります。 ■運転を停止してすぐに再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。 ■除湿運転の「自動」で運転しているときは、お部屋の湿度が低下して適湿状態（温度約60%）になると、送風運転に切りかわります。 ■霜取り運転中は、送風運転になります。
	本体表面があたたかくなる	■運転中はコンプレッサーやヒーターの熱によりあたたかくなりますが、異常ではありません。
	運転中に自動的に風量がかわる	■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がることがあります。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。
	吹出口から温風が出る	■運転時の吹出口の風は、コンプレッサーで発生する熱により室温より高くなります。 ■ヒーターを使用して運転しているときは温風が出ます。
	タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため、湿度が高いときは露がつくことがあります。
	たまに「ピシ」という音がする	■部品が熱膨張・収縮するときの音です。異常ではありません。
	運転のはじめに若干臭いがする	■この製品はヒーターを搭載しています。 運転のはじめに若干臭いを感じることがありますが、異常ではありません。
	ヒーターを使用しても温風が出ない	■機器保護のためヒーター表示が点灯していてもヒーターを使用できない場合があります。
	運転中や停止直後に「シュルシュル」と音がする	■内部の冷媒が流れる音です。異常ではありません。
	サーキュレーターのスイング角度が自動的に変わる	■お部屋の温度が高いときや、霜取り運転時には機器保護のため、サーキュレーターのスイング角度が変わることがありますが、異常ではありません。
	サーキュレーターの操作ボタンが反応しない	■一体で使用しているときはサーキュレーターの操作ボタンは受付けません。
	運転停止後にサーキュレーターが止まらない	■ヒーター排熱運転のため、運転停止後もサーキュレーターが運転することがあります。
もう一度お調べください	運転しない	■タンクが正しく入っていますか。 ■タンクが満水になっていませんか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。
	除湿能力が低下した	■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。 ■室温、湿度が低くありませんか。
	なかなか湿度が下がらない	■ドア、窓の開閉が多くありませんか。 ■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありませんか。 ■お部屋が広すぎませんか。
	音がうるさい	■サーキュレーターの羽根やナット、ガードは正しく取り付けられていますか。 ■サーキュレーターは除湿機に正しく取り付けられていますか。 ■不安定なところに置いていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。
	洗濯物がなかなか乾かない	■洗濯物に吹出口の風があたっていますか。 ■洗濯物の量が多くありませんか。 ■広いお部屋で乾かしていませんか。 ■室温が低くありませんか。
	サーキュレーターが運転しない	■サーキュレーターは除湿機に正しく取り付けられていますか。

●分離で使用するとき

	症　状	原　因
故障ではありません	サーキュレーターだけが運転している	■除湿機本体の運転モードによっては、除湿機が停止してサーキュレーターのみ運転することがあります。異常ではありません。
	サーキュレーターが自動で停止する	■除湿機本体と連動するため、除湿機の「運転 入/切ボタン」を押すまたは除湿機本体が自動停止するとサーキュレーターも自動で停止します。
もう一度お調べください	運転しない	■マグネットプラグはサーキュレーターのマグネットプラグ受けにしっかり接続されていますか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。
	音がうるさい	■不安定なところに置いていませんか。 ■サーキュレーターの羽根やナット、ガードは正しく取り付けられていますか。 ■サーキュレーターの吸込口がふさがれていませんか。

●除湿機単独で使用しているとき

	症　状	原　因
故障ではありません	運転中なのに送風機だけが運転している	■室温が約40℃以上のときは、機器保護のため送風運転になることがあります。 ■運転を停止してすぐに再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。 ■霜取り運転中は、送風運転になります。 ■除湿運転の「自動」で運転しているときは、お部屋の湿度が低下して適湿状態（湿度約60%）になると、送風運転に切りかわります。
	本体表面があたたかくなる	■運転中はコンプレッサーやヒーターの熱によりあたたかくなりますが、異常ではありません。
	運転中に自動的に風量がかわる	■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がることがあります。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。　■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。
	吹出口から温風が出る	■運転時の吹出口の風は、コンプレッサーで発生する熱により室温より高くなります。 ■ヒーターを使用して運転しているときは温風が出ます。
	タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため、湿度が高いときは露がつくことがあります。
	たまに「ピシ」という音がする	■部品が熱膨張・収縮するときの音です。異常ではありません。
	運転のはじめに若干臭いがする	■この製品はヒーターを搭載しています。 運転のはじめに若干臭いを感じることがありますが、異常ではありません。
	ヒーターを使用しても温風が出ない	■機器保護のためヒーター表示が点灯していてもヒーターを使用できない場合があります。
	運転中や停止直後に「シュルシュル」と音がする	■内部の冷媒が流れる音です。異常ではありません。
もう一度お調べください	運転しない	■タンクが正しく入っていますか。 ■タンクが満水になっていませんか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。
	除湿能力が低下した	■エアフィルターが目詰まりしていませんか。　■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。 ■室温、湿度が低くありませんか。
	なかなか湿度が下がらない	■ドア、窓の開閉が多くありませんか。　■お部屋が広すぎませんか。 ■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありませんか。
	音がうるさい	■不安定なところに置いていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。
	洗濯物がなかなか乾かない	■洗濯物に吹出口の風があたっていますか。　■洗濯物の量が多くありませんか。 ■広いお部屋で乾かしていませんか。　■室温が低くありませんか。

つぎの症状のときは、ただちに運転を停止し、電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口へご連絡ください。

■ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
■電源プラグや電源コードが異常に熱いとき
■ボタンの作動が不確実なとき
■誤って異物や水を入れてしまったとき
■使用中に異常音がするとき
■切タイマー2H、4H、8Hが点滅しているとき
■その他、異常のあるとき

仕様

型　式		CDSC-H8023X	
電　源		交流100V	
電源周波数		50Hzの場合	60Hzの場合
定格除湿能力		7.0L/日	8.0L/日
消費電力	一体	185W（ヒーター使用時：455W）	210W（ヒーター使用時：480W）
	除湿機単独	175W	205W
	サーキュレーター単独	15W	
除湿可能面積の目安	木　造	15m²（9畳）	17m²（10畳）
	プレハブ	22m²（13畳）	25m²（15畳）
	鉄　筋	29m²（18畳）	33m²（20畳）
タンク容量		約3.6L	
質量(電源コード含む)		約12kg	
外形寸法(高さ×幅×奥行)	一体	556mm × 298mm× 310mm	
	除湿機単独	438mm × 298mm× 310mm	
	サーキュレーター単独	310mm × 298mm× 234mm	
電源コードの長さ	除湿機	約2.0m	
	サーキュレーター	約1.5m	

■この製品は電源周波数50Hz、60Hzで仕様が異なります。
■定格除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転（一体で使用）したときの1日あたりの除湿量です。
■除湿可能面積の目安は、日本電機工業会規格（JEM規格）に基づいた数値です。
■待機電力（一体で使用）は約2W(ワット)です。
■製品は改良のため仕様の一部が変わることがあります。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

保証書

■保証書は裏表紙に印刷されています。「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。
■保証期間はお買いあげいただいた日から１年間です。
（ただし、冷媒回路の保証期間は３年間です。）

保証期間中は

■修理に際しましては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後は

■お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口(☞31ページ)にご相談ください。修理によって使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間

■除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後８年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理を依頼されるときは

■「知っておいていただきたいこと」(☞5ページ)
「故障かな？と思ったら」（☞ 28、29ページ）を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（☞31ページ）にご連絡ください。
ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
- 品名：サーキュレーター連動衣類乾燥除湿機
- 型式（本体銘板（☞ 11、12ページ）または保証書をごらんください。）
- お買いあげ日（裏表紙の保証書をごらんください。）
- 故障内容（できるだけ具体的に。本体操作部の表示が点滅しているときは、その内容も確認してください。）
- ご住所・お名前・電話番号
- 訪問ご希望日

■この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

■経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の表示をサーキュレーターの銘板近傍におこなっています。

【製造年】(サーキュレーターの銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

⚠ 【設計上の標準使用期間】　8年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

■設計上の標準使用期間とは、運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

【標準使用条件】

環境条件	電圧	AC100V	想定時間	運転時間	8h／日
	周波数	50／60Hz		スイッチ操作回数	5回／日
	温度	27℃		運転日数	110日／年
	湿度	60%		スイッチ操作	550回／年
	設置	本書に基づく組み立ておよび設置		首振運転の割合	100%
負荷条件		本製品の最大定格での運転			

ご注意
■設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。
■設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

点検整備のおすすめ

数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。長持ちさせるため通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。

愛情点検



長年ご使用のサーキュレーター連動衣類乾燥除湿機の点検をぜひ！　●サーキュレーター連動衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

このような症状はありませんか
- ■ 運転入/切ボタンを押しても運転しないときがある
- ■ 除湿機やサーキュレーターからこげくさい臭いがする
- ■ 除湿機のファンやサーキュレーターの羽根が回転するときに異常な音や振動がする
- ■ サーキュレーターの羽根の回転が不規則に変化する
- ■ 電源プラグや電源コードなどが異常に熱くなる
- ■ 電源コードに触れると通電しなかったり、折れ曲がって破損している
- ■ ブレーカー、ヒューズがたびたび切れる
- ■ 除湿機本体から水がもれる
- ■ その他の異常や故障がある

ご使用中止
故障や事故防止のため、運転入/切ボタンを押して運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
点検・修理についての詳しいことは、お買いあげの販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください

電話番号やアドレスは変更する場合がありますのでご了承ください。

コロナサービスセンター（全国共通番号　365日24時間受付）

TEL　フリーダイヤル　**0120-919-302**

携帯電話　ナビダイヤル　**0570-550-992**

ナビダイヤルの通話料はお客様負担となります。

修理･アフターサービスに関するお問い合わせ

https://www.corona.co.jp/support/service/

■365日24時間修理依頼ができます。
部品保有年限が経過している製品は受付しないこともあります。
右記QRコードからアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

コロナ公式オンラインストア

お客様ご自身で簡単に交換いただける純正部品、別売部材を販売しております。製品内部の部品や交換の際に資格や技術が必要となる部品などは販売しておりません。

補修用性能部品の保有期間が過ぎている部品は、取り扱いを終了している場合があります。下記アドレスページ内の対応型式をよくご確認ください。

公式オンラインストア
CORONA STORE

https://ec.coronaweb.com/
（コロナ公式ホームページからもアクセスできます ）

コロナ サーキュレーター連動衣類乾燥除湿機保証書

型式	CDSC-H8023X
★お客様	お名前　　様 ご住所　〒（　　－　　） 電話（　　）　　－

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上（★印欄に記入のない場合は、無効となります）、本書をお客様へお渡しください。

見本

★お買いあげ日		年　月　日	
保証期間	対象部分	本体	冷媒回路（圧縮機・蒸発器・凝縮器・冷媒配管等）
	期間（お買いあげ日より）	1年	3年

★販売店	住所・店名 電話（　　）　　－

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記入がない場合は、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談窓口（本書31ページに記載）にお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）取扱説明書、本体表示等によらないで使用された場合、または適切な点検・手入れを行なわなかったことにより発生した不具合
   （ハ）お買いあげ後の輸送、落下等による故障および損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷
   （ホ）業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
   （ヘ）本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
   （ト）本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This guarantee is valid in Japan only.
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書31ページに記載）にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口（本書31ページに記載）にお問い合わせください。

株式会社 コロナ
〒955−8510　新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　https://www.corona.co.jp/

134WA0834-0　1　2　3　Ⓝ2023